

アセンションBOOK 21

アセンションと創造主

NO2 2016年2月

アセンションと創造主 NO2

地球のアセンションと創造

主



地球のアセンションと創造主 目次

○第1章 アセンションとスピリチュアルな存在

○第2章 アセンションと創造主の秘密

○第3章 闇が深い地球で起こっている事

○第4章 光の先住民族とファラオ

○第5章 創造主の世界の立て直し

○第6章 物理的な宇宙の創造主達が抱える闇

○第7章 地球のアセンション評議会

○第8章 新たな宇宙を創る創造主評議会
光の世界の区分

これから私達が歩む光の世界について

制限の多い地球を卒業するための試練

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 アセンションとスピリ チュアルな存在

PART1 アセンションとパラレルワールドの仕組み

私達が生きている世界は、いくつものパラレルワールドに分かれていますので今回は、この事についてお話をしたいと思います。

私達が地球のアセンションの仕事をしている時に、地球に住む人間が、いくつもの世界に同時に存在している事に私達は気づいていましたが、その理由がよくわかりませんでした。

しかし、アセンションが進むにつれその理由が少しずつ分かってきましたので、私達なりの解釈をお伝えしたいと思います。

私達は非常に多彩な働きをするスピリットを持っています。

そのスピリットは、いくつもの世界に、自分のスピリットを分割した意識を投影し、多くの学びを得て自分の成長を行おうとします。私達も、大きなスピリットの1部から生み出された意識を元にこの地球に生きています。

大元となるスピリットの働きや学びが多いほど、そのスピリットから分かれた意識は、たくさんの世界に存在する事になります。ある世界では、愛を学ぶために、愛に関わる多くの問題や障害を体験する事もあります。異なる世界では、多くの人々や動物達に癒しを与えるためにヒーラーとして活躍する世界もあります。

また正義感が強いスピリットは、社会の改革

者や警察官などになる場合もあるでしょう。

皆さんの大元となるスピリットは、様々な世界に存在する自分を通して、多くの学びと成長を行います。

しかし、ひとつの世界には、ひとつのスピリットしか存在できません。

現在、この地球を中心とした宇宙では、大規模なアセンションや次元の調整、物理世界の作り変えが行われており、いくつもの世界で活躍していたスピリット達も、元となるスピリットに少しずつ統合されていっています。

統合されるという事は、その世界で学びを終えたスピリットや目的を果たしたスピリットがその世界から離れて、再びスピリットの元に戻り、スピリットの本体が最も多くかかわる世界のスピリットに統合されていくという事です。

スピリットが、その世界を去る時は、事故や病気、あるいは災害などによって命を失う事もあります。

その世界に残された人にしてみれば、突然の死という事になるかもしれませんが、スピリットとしては、目的や学びを終えて、予定どおり学校から卒業したという事になりますので、その死は何ら悲しむべきものではありません。

アセンションしていく地球を見ていると、本体の地球からいくつもの地球が分離し、それぞれ異なった地球になっていく様子が分かります。

光に向かう地球は、決して大きくはありませんが、今一生懸命に育っている状態です。

地球の中でも、最もたくさん人間が存在する部分は、これからもまだ大きな学びを行う必要がある地球です。

様々な問題や争い、差別、憎しみ、支配、欲望などについて学ぶ必要がある人達が住む地球です。

この地球に住む人達は、お金儲けや人々を支配する事、支配される事を学んでいかなければなりません。

しかし、そのような学びを終えたスピリットはこの地球から離れていきます。

そして、そのスピリットを持っていた人々も、病死だけでなく自然災害や事故によって、学びを目的とする地球からいなくなっていくます。

私も、そのような地球で生きている自分がどうしているのかな、と見てみたら、自然災害によって命を失っていたようです。

そして、その世界で命を失った私の意識は、これから自分の本体のスピリットが向かう世界の自分と統合されて一つになっていきます。

このように地球のアセンションが進むと、様々なパラレルワールドで学んでいた自分が統合されていきます。

つまり、いくつものパラレルワールドが存在しており、その世界ごとに異なる目的で生きていた自分の意識が、地球のアセンションをきっかけとして、本来歩むべき世界の自分へと統合されていくという事が起こっているのです。

簡単に言えば、自分に合わない世界の自分はいなくなっ、自分が行きたい世界の自分だけになるという事です。

アセンションが起こる事で、皆さんにとって

不要な世界は切り離されていきます。
もちろん、人それぞれが望んでいる事やりたいと思っている事は異なりますので、自分にとってベストな世界で、あなたは生きていく事になります。

スピリットの1部分である皆さんの意識は、地球という物理世界にいるために、他の世界にいる自分を見る事ができません。

そのために、自分自身は今までとは何も変化がないように思えるかもしれません。

現在は今までと同じ世界にしか見えないのは当たり前なのですが、これから皆さんが目的とする世界に向かって歩み始めると、今迄の地球とは異なってきている事が理解できると思います。

ただし、注意深く自分を見る事ができる人は、自分のエネルギーが軽くなったり能力が高まったり、自然に対する感応力が鋭敏になっている事に気づいているかもしれません。

そして、今の地球の中でも、自分にあつた世界、自分に合わない世界、あるいは自分に合ったエネルギーや人、自分に合わないエネルギーや人をしっかりと見分ける事ができて、自分が望む世界に向かってしっかりと歩いていく事ができると思われます。

問題なのは、自分が進むべき道を選択する時に、自分の自由意思で選択できればよいのですが、皆さんが持つ欲望や人に対する依存心、愛されたいと思う気持ちが掻き立てられてしまうと、本来行くべき世界と異なる世界へと導かれていく事があります。

それは、皆さんが、光が多い世界に行く事を妨げて闇が多い世界に皆さんをとどめるために、ダークピープルや闇の存在達があなた

の意識をコントロールしたり、ひどい場合にはあなたのスピリットを捕えてしまう事もあるからです。

私達は、地球のアセンションを進めるにあたって、そのような事を起こしている存在達を明らかにし、その存在達にとらえられた皆さんのスピリットの1部を開放していています。

そうする事で、皆さんの意識の元となったスピリット達は本来の力を得て、自らの意思で自らが進むべき世界を見出し、行動していただけるのです。

PART2 地球のアセンションを妨げているもの

私達は、地球のアセンションの目的について知り、アセンションのために様々な努力をしてきました。

私達が、アセンションやそれを計画した創造主達の世界を知れば知るほど、その目的と現実に行われている事の意味の深さに驚かされます。

2016年になって、もうすぐ4か月が過ぎますが、その間にもさまざまな事が起こりました。

すこし過去を振り返りながら、地球が置かれている状況をお話ししたいと思います。

先ず、地球がアセンションを行う理由についてですが、本来地球は、叡智ある存在や光のマスター達、スターピープル達が地球に降りて、自分自身の成長のために学びを行うために作られました。

もともと地球は光の楽園だったのですが、そのままでは、その世界に住む人々や様々な存在達が成長できないために、闇の働きをする創造主や地球外生命達によって、学びのための仕組みが作られました。

光の存在や叡智ある存在は、この地球に人間として降りる事で、自分自身の中に自意識やエゴ、様々な欲望を持ち、多彩な人生を生きる事になります。

人々はいくつもの人生の中で、苦しみや悲しみを体験し、様々な感情と意識を体験します。

しかしながら、人々に多くの学びを与える闇の働きをする創造主も、人々を光に導く創造主も、自分自身のエゴや支配欲にとらわれ、地球に生きる人々や叡智ある存在を成長させるどころか、自らが闇にとらわれ墮落してしまいました。

地球に生きる人々や叡智ある存在達も、地球を覆う深い闇の中で、自らの本質や地球に降りてきた目的を忘れ、ただ地球の闇の中で翻弄されて生きるだけの存在となってしまいました。

光ある存在達は、その光や生命力を奪われ、闇の存在達のなすがままに操られて生きるようになりました。

地球に生きる人達も、果てしない欲望や情念にとらわれ、自分自身の神聖さを見失っていったのです。

その結果、地球は支配欲を持つ人達と彼らに依存する人々によって、果てしない争いと混乱の世界へと変わっていきました。

力を求める人々は、弱い人から多くを奪いました。

特に女性や子供達を自分の欲望のままに扱

いました。

そして地球の動物や植物、地球の自然そのものを支配しようとしたのです。

地球で、純粋な心を持って、愛と喜びのために生きていきたいと考えていた人達も傷つけられ抑圧されてしまいました。

彼らにも、次第に欲望や依存心が植えつけられ、力を持つ人達に従うになってしまったのです。

そのような人達の中には、地球以外の星から、多くの事を学びに来た存在達もいました。

光の創造主達は、本来そのような立場の人々や光の存在達を守護し導かなければならなかったのですが、地球の深い闇の中に隠されて、地球の現状が見えていませんでした。

そして光の創造主の中にも、支配欲や傲慢な欲望にとらわれた創造主もいて、闇の創造主と一緒にあって、この地球に生きる人々を苦しめるような事をしている者もいました。

そのような地球の状況を知った光の創造主は、闇の多い地球では、そこに生きる人々も十分に成長できないし、地球の意識進化をサポートに来た人もしっかりと働く事ができないと判断し、地球の内部を調査する事にしました。

すると、地球人は成長するどころか、エゴと欲望にまみれ墮落していくばかりだし、その墮落をそそのかす闇の存在達によって、大切なスピリットさえも奪われ、まるで家畜のように扱われている事が分かりました。

そして、人々を導く天使やスターピープル達も、闇の存在に光を奪われ、地球で仕事ができないばかりか、自分達の世界に変える事もできなくなっている事が判明したのです。

光の創造主達は、その状況を解決しようと試みましたが、闇の存在達によって、創造主の活動は阻まれていました。

闇の存在の中でも、最も厄介だったのは、私達の宇宙の闇の創造主さえも利用して、この地球を闇の世界の中に葬り去ろうとしていた者達でした。

それは、殺戮の創造主、幻影の創造主、束縛の創造主、情念の女神、と呼ばれる存在達とそれらの存在を作った「すべての光を食らう創造主」と呼ばれる者達でした。

殺戮の創造主とは、様々な戦いや戦争や殺人などを引き起こす創造主で、人々に支配欲や物欲をあたえ、奪い合いや争いに人々を向かわせます。

日本の神社などでも、戦勝祈願などが行われた神社には、普通の神々でなくこの殺戮の創造主が居座っている事が多いようです。

幻影の創造主とは、人々に真実とは異なるビジョンやメッセージを与えて人々を惑わします。

そして他人を攻撃したり、お互いを喧嘩させたりする創造主です。

また真実の神々の姿を真似して人々をだまして自分を神として敬わせたりします。

お金儲けや支配欲のための政治、経済、宗教活動などは、幻影の創造主から作り出されたものがほとんどです。

またヒーリングや様々な占い、チャネリングなども、この幻影の創造主の影響を受けている事があります。

束縛の創造主とは、私達の気持ちを無気力にしたり、また反対に一つの事に集中させ周りを見せなくしたりします。

彼らは力を持つ人達とひとつになり、特定の宗教団体や政党、商業施設や娯楽施設にたくさんの人を引き寄せます。

それはただ金銭的な目的だけでなく、人間の意識をある一定の方向に向かわせ、人間の意識進化を妨げる働きも行うようです。

情念の女神は、人々の心に欲望を植え付けます。

人間にとって最も大切な感情は「愛」です。その愛を情欲へと変え、愛する人を得るために、様々な方法を使わせます。

また愛する人を失った時は、愛する人を奪った人に対して大きな怒りや憎しみを待たせ、その人を攻撃するように仕向けます。

この情念の女神と殺戮の創造主が一つになる事によって、好きだった人が自分のもとから離れたときに、その人を殺したり、好きな人を奪った相手を傷つけるような行為をさせます。

そして、これらの存在を作ったのは、私達が「光を食らう創造主」と呼んでいる存在です。この創造主は、光を持った地球人やスターピープル達のスピリットを捉え、利用しています。

彼らはブラックホールのように、宇宙の光や愛を吸い込む場所を作り、いくつもの異なる次元で、光を奪い取るために活動しています。そして多くの地球人や光の存在達がこれらの存在によって、意識やスピリットの1部がとらわれ、不完全なスピリットにされていたのです。

不完全なスピリットは、自らを光の世界へアセンションさせる事はできませんので、私達は、これらの存在を捉えると、光の創造主にお願いして、その闇の存在が関わっているゲ

ートを開き、そこにとらわれている人々のスピリットを開放していきます。

なかには、この地球のみならず宇宙にとっても重要な役目をする存在のスピリットが捉えられている事もあります。

捕えられたスピリットはエネルギーを奪われ束縛されますので、元となるスピリット自体も、本来の仕事がきちんとできませんし、闇の存在からコントロールを受けたりサイキックアタックを受けたりする事がよくあります。

実際私達も、幾度となくサイキックアタックを受け、苦しい思いをしました。

また、光の創造主達のスピリットの1部も彼らによって束縛された為に、創造主の心にエゴや支配欲が芽生えさせられ、創造主としての仕事がきちんとできないようにされていました。

この事により、この地球も、そして私達の宇宙も、闇の多い世界に落ち込んでしまっていたのです。

PART3 闇の存在達から光の世界を自由にする

地球のアセンションを阻んでいた存在は、スピリチュアルの世界だけでなく、現実世界でも人々の心や意識の中に入り込み、時には地球外生命体(ダークピープル)なども使って、人々をコントロールしていたのです。

スピリチュアルの世界にのみ存在している者達は、正当な光の創造主のエネルギーを使用して光に返していく事ができますが、物理世界の人々の中に入り込んでいる存在は、そ

の人の許可がないかぎり、その存在を切り離し処理する事ができないので、私達も大変てこずっています。

時として、闇の存在たちは、その人達の感情やエネルギーを使って私達を攻撃してくるからです。

私達は、自分の肉体やスピリチュアル体に痛みや違和感を感じると、スターピープルや光の創造主にその理由を調べてもらい、どの存在が私達にアタックしてきたかを調べてもらいます。

そして、私達につながっているエネルギーやコードから、その存在を明らかにして光に返していきます。

闇の存在が、私達にサイキックアタックをかけてくる理由は、彼らが少しでも多くの人々のスピリットを捉えておくために、私達が人々のスピリットを助け出す事を邪魔したいからです。

地球が、アセンションを行い、光の世界と闇の多い世界が完全に分かれてしまうと、闇の存在達は光の世界には入れなくなりますし、光の世界に生きる人達に対しては、一切の手出しはできなくなります。

そのために一人でも多くの人を、光の世界から引きずりおろし、自分達が支配する闇の世界へととどめておきたいのです。

そのために彼らが行う事は、人々に欲望を持たせる事です。

名誉欲、支配欲、物欲、愛欲、依存心など、物理世界に特有な欲望と感情を持たせる事で、その人は、光の世界に入る事ができず、闇の多い世界で欲望と共に生きていく事になるのです。

もちろん、それは、その人のスピリットが同

意した事ですので、私達が助けようとしても助ける事はできません。

その人自身が、不要な欲望を持たせられている事に気づき、そこから脱却しなければならないのです。

そして、「すべての光を食らう創造主」達とそのグループは、現実世界の人々の意識を通して、アセンションしていく地球に、がっちりと食らいついています。

まるでたくさんのボルトで光の地球と闇の多い地球が留められているようです。

私達は、そのボルトを一つずつ解き放ち、彼らの影響力を光の地球から外していきます。そしてそれらのすべてが解き放たれ、人々のスピリットを捉える闇の存在から、光の地球を分離した時、地球のアセンションは大きな進展を迎えます。

闇の多い世界から切り離された光の地球は、本来の目的に向かって大きく動き始めます。それは、今まで闇の存在達によって統治された地球と宇宙を光の創造主達の手に取り戻す事です。

そして、光の地球、光の宇宙を、私達の手で作ります。

PART4 創造主・マスター・天使達の違い

私は、このような大きな闇を作り出して地球人を支配しようとする存在を、なぜ創造主と呼ぶのか、誰がこの存在達をつくりだしたのか不思議でしたが、3月の半ば、ようやくその謎が解けました。

私達は、この地球のみならず天の川銀河や大

宇宙を創造した偉大なる存在達と3年ほど前からコンタクトを取って共に活動しています。

それは、私達が毎週のように行っていた「星のツアー」で、地球以外の星や天の川銀河、あるいはアンドロメダ銀河やオリオン星雲を訪ね、そこで起こっている様々な問題を解決し、宇宙の秘密を知るようになった時から始まっています。

創造主は、私達にいくつもの課題を与えながら、宇宙の新たな秘密やより高次元に存在するマスターや創造主の事を教えてくれます。そして、課題を解決するごとに、今までよりも高い位置にいる創造主が現れ、さらに高次の世界へと案内してくれました。

創造主とマスター、女神、天使達の違いについて、私が理解している事をお知らせします。創造主とは、創造主の光（遺伝子）の1部を受け継いでいる存在です。

次元の高い創造主の光を基に、その意思を実現するために、特定の役割を与えられて作られています。

創造主達の本当の姿はただ光ですが、私達と共に活動するときは、分かり易いように人の形をとってくれる事もあります。

創造主は、生命や様々な光（要素）などを新たに作り出す事が認められています。

それは、物理世界の宇宙だけでなくスピリチュアルなさまざまな次元においても自分の得意とする分野で創造を行う事ができるのです。

また自分に与えられた目的に対して、自分の意志で活動する事ができます。

それに対して、マスターや女神など創造主以

外の存在は独自に創造する事は認められていません。

創造主が創造した宇宙や生命を見守り、その進化のサポートをしたり、特定の目的に基づいて、星々の運営を担ったりします。

マスターや女神達は、創造主から作り出されていますが、創造主の遺伝子を持ちませんので、創造活動はできないのです。

自分自身を生みだしてくれた創造主の意思のままに動かなければなりません。

天使は、何かを創造する事はありませんが、創造主から生み出された叡智ある存在達を、進化させるために教育と守護を行います。

天使達を生み出したのは、創造主の中でも、最高次元に近い場所にいる 5 人の創造主の一人で「天使を創造する創造主」と呼ばれる方から、生み出されているようです。

彼らは、他の創造主やマスター達からの干渉を受ける事なく、人々や叡智ある生命の守護を行う事ができます。

時として、他の創造主やマスター達の意見と対立する事もあります。

それは、すべての創造主達が正しい判断を常に行っているわけではありませんので、そのようなときには、叡智ある存在達を守護する役目を担います。

第2章 アセンションと創造

主の秘密

PART1 アセンションと創造主の秘密

それでは話を創造主の秘密に戻しましょう。私達は、天の川銀河に存在する創造主や天の川銀河すべてを統括する創造主に会いました。

そしてさらにアンドロメダ銀河やオリオン星雲を含む大宇宙の創造主にも会いました。

私達は更に物理世界を創造する創造主を超えて、様々なスピリチュアルなレベルを創造したり運営したりする創造主のグループの世界を、まるでエレベーターで昇るように、高次の世界に向かってどんどん昇って行きました。

もちろんそのために、創造主達が次々と与える課題を乗り越え、この宇宙が抱えている問題を、創造主達と共に解決していく事を行っていきました。

創造主の階層はおそらく皆さんの想像を絶するほど複雑で多岐にわたっています。

しかし、この地球のみならず大宇宙のスケールや多様性を考えるならば、創造主は唯一万能の創造主が一人だけ存在するのではなく、たくさんの働きと特質を持った創造主達のグループが存在すると考えたほうが自然です。

私達は、そのような創造主の働きと階層を一つ一つ確認しながら、この宇宙を旅して行きました。

この宇宙は、いくつもの創造主のグループによって作られています。

私達にとって身近な天の川銀河等の物質世界を生み出す創造主達もいます。

更にその上には、アンドロメダ銀河やオリオン星雲などの様々な銀河、星雲が含まれる宇宙を創造し運営する創造主達がいます。

そして彼らを指導する創造主達もたくさんのグループに分かれて存在しています。

たとえば、銀河や星々を作る創造主や生命を生み出す創造主、時間を生み出す創造主、愛や叡智を生み出す創造主などが存在し、それぞれの役目に応じて、下部の創造主を指導し自らの目的とする活動を行っています。

そして、ひとつの宇宙を生みだし運営する創造主達は、それらの宇宙がいくつも含まれるさらに大きな宇宙を創造し運営する創造主達から生み出され指導を受けます。

そして、それらの創造主も、大きな宇宙の時を生み出す創造主や叡智を司る創造主、愛によってすべてを生み出す創造主などから生み出されて指導されていきます。

そして、それらの創造主もまた、創造主を生み出す創造主や宇宙原理そのものを現す創造主達から生み出されて行くのです。

創造主は、常に自分の上位に位置する創造主の光の1部から生み出されます。

そのために、自分を生み出した創造主の意思には従わなければなりません。一人一人明確な意思と叡智を持っており、自分の判断で宇宙の創造や運営、人々の創造や教育を行う事が認められています。

しかし、創造主達には、活動の目的に応じて

いくつかの系列があり、系列ごとに地球や人間に対する関わり方が異なりますので、宇宙の創造や人間の教育に関して、創造主同士で意見の対立や矛盾が起こる事があります。

特に光の創造主と呼ばれるグループと闇の働きをする創造主と呼ばれるグループの間には、多くの対立点があり、その対立を解消するために、さまざまな試みが今まで行われてきました。

そして、地球のアセンションは、その対立を解き放ち、創造主達を一つにするために計画された面もあります。

地球のアセンションというのは、多くの人が考えるように、ただ地球の次元が上昇するというだけの問題ではなく、最高次元の創造主や光の創造主、闇の働きをする創造主が互いに関係しながら、宇宙と創造主の多くの課題を解決するために行われている事なのです。

PART2 地球のルールと光の創造主と闇の働きをする創造主

それでは、光の創造主と闇の働きをする創造主（闇の創造主）そして地球のアセンションについてお話ししましょう。

まず地球は、光ある存在達が多くの学びを行うために作られたのだという事をお話ししましょう。

地球は、もともとは光が満ち溢れる世界だったのですが、ある時から、光の存在達が学びを行うために、あえて闇が多い世界を作ろうという事になりました。

その事が決まった時、光の創造主達は、この

地球の統治を、闇の働きをする創造主と共に
行う事となりましたが、やがて光の創造主は、
闇の働きをする創造主の力に押されて、地球
の統治権を失ってしまいました。

地球は、今まで美しく豊かな文明が栄えてい
たのですが、その時を境にして、闇の働きを
する創造主達は、人々にエゴや欲望を与え、
この地にさまざまな争いや抑圧、奪い合いや
混乱を引き起こす事にしました。

地球は、欲望を持った人達によって戦争や奪
い合いが行われ、文明の興亡が繰り返されて
行く中で、さらに闇が深い世界になってしま
ったのです。

創造主達は、この地球といくつもの星々や世
界をつなげ、異なる次元へと自由に行き来で
きる通路を作り、様々な世界から、様々な目
的を持った存在達が自由に入れるようにし
ました。

この多次元通路を通して、多くの光の存在達
が、闇がある世界を経験しにやってきました。
また、この地球に生きる人達を守護し導くた
めの存在もやってきました。

しかし反対に、地球の人々を陥れ、地球を支
配したいと考えるような存在や、地球に来て
いる光の存在達のエネルギーを奪おうと考
えるような存在もやってきました。

私達は、同じ地球外生命体でも、人々を導く
ために存在している者達をスターピープル、
地球人を利用して支配しようとするものを
ダークピープルそしてその中間にあるもの
はグレイピープルと呼ぶことにしています。

地球で多くの学びを得る事ができるように、
地球の物理世界にはいくつもの制限が作ら
れ、この地球に生きる人々はその制限を受け
入れなければならなくなりました。

最も大きなルールは、地球に生まれた人は、自分自身のスピリットと分離され、自分の過去の記憶や能力を思い出す事ができないというルールでした。

そして、地球上では、どのような次元が高い存在のエネルギーよりも、同じ物理世界にいる人のエネルギーが優先されるというルールでした。

そして、地球に生きる人の同意や求めがなければ、地球に生きる人に高次の存在は関わる事ができないというルールも作られました。

これらのルールによって、地球に降り立った光の存在や地球に生まれた人々の間に大変な事が起こりました。

それはまず、地球に降り立つと、自分がなぜ地球に来たのか、どこから来たのか、どのような能力やパワーを持っているのか、という事が全く分からなくなってしまったのです。本来は、愛を学ぶために来た人、人々を癒すために来た人、地球の人々を導くために来た人であったとしても、その事をすべて忘れ、自分の能力も失われてしまいました。

人々は、本来、光の存在であるのに、学校や宗教の教育を通して、自分がいかに無力であるか、罪人であるか、社会の権力者に服従しなければならないという事を学ばされます。その事によって人々は、自分が地球に来た理由や目的を探す事を忘れさせられてしまうのです。

そして高次の存在達や天使達が、彼を助け導こうとしても、そのような存在を信じないし必要ないと思わされているので、高次の存在達は、彼を助ける事ができなくなりました。

そして現実世界に繰り広げられる食事やあふれるばかりの物品、そして愛を語る存在達

に夢中になってしまい、物欲や依存心を植え付けられ自らの神聖な光を失ってしまいます。

また宗教的・政治的、社会的な理由によっていくつもの団体や人々から抑圧を受け、心もスピリットも傷つけられて、自分自身が生きる希望や目的を見失わされています。

時には、地球のそのような現状を正して人々を救い出すために、地球にやってきた光の存在達もいましたが、地球に降り立ち、自分の記憶や能力を忘れる事で、かえってその偉大な光を奪われてしまう事も起こりました。

あるいはイエス・キリストのように、本来の目的とは異なり、宗教的な抑圧や1部の人間の利益のために利用されてしまう存在達も出てしまったのです。

大天使も光の存在も、この地球の惨状を是正するために働きかけていましたが、地球のルールに邪魔されて有効な方策がとれず、闇の働きをする創造主達によって、地球は闇が多い世界として運営されていきました。

本来の闇の働きをする創造主の目的は、人々に大きな試練を与え、叡智ある存在を成長させる事です。

そしてこの地球を、さらに力強い素晴らしい星にする事です。

闇の働きをする創造主といっても、彼ら自体は、何か悪い事をするのではなく、光の創造主同様に、人類の進化を望んでいるのです。ただし光の創造主と異なる所は、光の創造主は、人々を愛と希望によって成長させたいと考えているのに対し闇の働きをする創造主は、人々に試練や苦しみを与え、それを乗り越える事によって進化させようと思っている事なのです。

闇の働きをする創造主は、私達が苦難を乗り越えて力をつける事を期待しているのです。

しかし闇の働きをする創造主や光の創造主の中にも大きな欲望が生まれ、この地球を自分達が支配したい、と考える創造主が生まれてきました。

彼らは、自分の下にいる創造主やマスター達を、仲間に引き入れながら、その勢力や力を拡大していきました。

本来であれば、創造主にはエゴも支配欲も関係ないのですが、自分の心の中に芽生えた、あるいは芽生えさせられたエゴや支配欲に負けて、人間と同じように様々な感情やエゴを持つようになってしまったのです。

そのように人々を進化させるために働く創造主が、自己中心的な欲望によって地球人や星々を支配しようとするとき、創造主は闇に落ちた創造主となり、「闇の創造主」と呼ばれることがあります。

ただし、アセンションブックでは、「闇の働きをする創造主」と「闇の創造主」の区別は厳密にされておりませんので、考慮して読まれてください。

第3章 闇が深い地球で起こっている事

PART1 闇が深い地球で起こっている事

私達は、いくつものアチューメントを作り、地球に生きる人々が成長するように努力してきました。

闇が多い地球では、地球人と大天使や神々との間にはとても大きな壁があり、人々は神々や天使の助けを求めるためには真剣に祈らなくてははいけません。

私達は、神々と人々をつなぐ通路として様々なアチューメントを作り、神々や天使達と地球人を光でつなぎ、彼等からのメッセージも伝えてきました。

元々は繋がっていた地球人と神々や天使達との絆が断ち切られた理由は、人間のエゴでした。

私がアチューメントを行う大天使は、私達にこのように言います。

「私達の願いは、地球人をサポートして、地球の人々を進化させ愛に導く事です。

1人1人が、愛と奉仕の心を持てば、地球はとても素晴らしい世界になります。

そのために私達は最善を尽くして、地球の人々に奉仕する準備ができています。

しかし地球の人々が私達に願う事は、自分の欲望を満たす事ばかりです。

自分が病気になった理由も考えずに健康にしてほしいとか、お金持ちにしてほしい、好きな人を自分に振り向かせてほしい、などと自分の利益のために祈ります。

私達は、皆さんの個人的な欲望を満たすために、存在しているのではなく、皆さんと共に、地球を素晴らしい星にするために存在しているのです。」

天使達が嘆くように、地球の人々は欲望とエゴにまみれてしまい、自らが神聖な光の存在である事を忘れてしまいました。

それが、人間が神々や天使と切り離された理由でもあるのですが、私達は、地球で多くの事を学び、その絆を再び繋げていかなければならないのです。

私の文章を読んでいる人は、その多くの人々が光の存在であると私は思っています。

皆さんは、さまざまな愛や叡智を学び、地球人が持つ生命力を体験して、自分自身の意識や生命力を高める為にこの地球にやってきたのです。

あるいは、地球に降りて、闇の存在達の対処法を学ぶ事で、多くの星の人々を助ける能力と知恵を学ぶためにやってきました。

そして、最初から光の存在としての記憶や能力を持っていると、十分な学びにならないので、1度その記憶を捨てて、人間としてのエゴや欲望を持ち、様々な困難が待ち構える闇の世界に入っていきます。

その世界で、欲望を乗り越え、真実の愛をつかむ事であなたは成長し、自分は誰であるか、何をするために地球に来たのかを思い出します。

そして、この地球に初めて来た時よりも、さらに強い精神力とパワー、この地球でしか得られない叡智を身に着けて、自分が元いた場所に戻るのです。

しかし、創造主達が想定したよりもこの地球の闇は深くなってしまいました。

それはエゴや欲望にまみれた人類の潜在意識が、この地球のエネルギーを低下させ、欲望からなかなか離れる事できない人々、愛を見失ってしまい情欲や快樂のみを求める人々、自分の利益や満足のために、他の人々や生命を犠牲にしてもよいと考える人、地球の自然や他の生命を大切にしないで破壊してもよいと考えている人達をたくさん生みだしてしまっただけからです。

この地球にやってきた光の存在達も、この人間の潜在意識に巻き込まれ、自らの愛を見失い、自らの学びを忘れて欲望に満ちた生活を送るようになってしまいました。

そして何度も人生を繰り返していくうちに、自分が光の存在であるという事も思い出さず事がなくなりました。

そしてさらに悪い事に、そのような地球の状況を見て、地球以外の星から、地球を支配したいと考える存在達が地球を訪れ、闇の働きをする創造主と手を組んで、この地球の人々を支配する事を行いはじめたのです。

皆さんがよく知っているレプタリアンやグレイ種などは、その地球外存在達のただの手下にすぎません。

彼らは巧妙に姿をかくし、地球の創造主達を操りながら、この地球の独裁者や戦争を好む権力者、利益のために人間の体や心にとって有害な食品や物販を製造する経済人、危険な技術を推し進める科学者などを生みだし、地球の闇をさらに深いものにしていきました。

そして彼らの目的の一つは、この地球にやってきた尊い光を持つ存在達のスピリットの

エネルギーを奪う事だったので。

通常の宇宙や次元では、「次元の分離」という法則があり、自分自身と異なる世界に住む存在や波動が異なる存在とは決して出会えないようになっており、邪悪な存在は、光の存在には触れる事もできないのです。

しかし、地球は、他の宇宙や星々、他の次元をつなぐ多次元通路が開いているため、邪悪な存在であっても、光の存在や純粋な人間達が住んでいる世界へ自由に入ってこれる仕組みになっています。

しかも地球の物理世界では、光の存在達は、自分達の記憶を失っていますので、まるで赤ちゃんの様な状態です。

その事をいい事に闇の存在達は、人間となっている光の存在達を言葉巧みにだまして、その貴重なスピリットを捉えてしまいます。

スピリットを捉えられた光の存在や叡智ある存在は、自分自身が持っている純粋さや愛、叡智、豊かさなどの大切なエネルギーや、地球を大切にするための心、人を癒したり導いたりする能力を彼らに奪われてしまい、自分が本来持っている能力やエネルギーを発揮する事はできません。

現実的にも、自分の意のままにならない人生を送ることが多いようです。

それどころか、もともと光が多い人たちであったとしても、自分自身のスピリットが捕られる事によって、闇の存在からコントロールされ、自らも闇の存在の手下として行動してしまう事もあります。

自分勝手に自分の利益や欲望しか考えない人達は、この状態にある事が多いようです。

また自分自身がお金儲けや支配欲を持って

ヒーリングなどを行っている、素晴らしいヒーリングだと自分では思っている、自分が思っているエネルギーとは異なるエネルギーが流れている場合もあるのです。

そしてヒーリングを通して、ヒーリングを行う人も受ける人も同じように、闇の存在にスピリットの1部を捕えられてしまう事もあります。

スピリットを闇の存在であるダークピープル達に捕らわれてしまうと、心と体のバランスも大きく狂ってしまいますので、ストレス障害、様々な精神疾患や発達障害、知能障害を患ったりする事もあります。

また自分が理想とする人生を生きる事が困難になり、様々な障害や困難に見舞われ、仕事や家庭の中でも大きな問題が起こってしまいます。

そして次第に、無気力や神経衰弱に陥り、他の人との調和ある行動ができなくなります。このような事がまさに、私達が住む地球で起こっているのです。

PART2 闇が多い地球からの救出

これらの事は、多くの地球に降りてきた光の存在、あるいは地球に生まれてきた人々達にも起こっていた事でした。

地球の惨状を見ていた1部の創造主は、この現状を不思議に思い、地球の物理的な世界を調べるために、自分の1部を地球におろし、地球の様子をつぶさに観察しました。

そして分かった事は、闇の創造主達と闇の存在の行動があまりにも行き過ぎており、地球

に生きる人々が学びを行うところか、自分のスピリットを取られたり、傷つけられたりして、地球での学びが行われていないという事でした。

このままでは、光の存在が成長するところか、その尊い命さえも奪われ続け、本来の創造主達の意図は全く達成できない事になります。

また地球自身もどんどん闇が深くなり、地球そのものも衰弱していくばかりです。

そしてさらに、地球にある多次元通路を使用して、邪悪な存在達が、地球以外の星や宇宙に対して侵略を行っている事もわかりました。

創造主達は、この地球の惨状を顧みて、様々なマスターをこの地球に送りました。

サナート・クマラやサナンダ、そしてアセンデット・マスターと呼ばれる存在達を中心に、多くの存在達が、地球の闇を変えようと努力しましたが、地球の闇を取り除き、闇に捕えられた光の存在達を助け出す事はできませんでした。

地球の闇は彼らのスピリットさえも飲み込むほど大きくて強かったのです。

光の創造主達は、この地球から光の存在を助けだすために最後の方法を考えました。

それが、光の地球と闇の地球を分離するアセンションです。

創造主は、この地球の全ての闇を取り除き、光の世界に変える事は不可能だと考えました。

なぜなら、闇の地球を統括する闇の創造主さえも手に負えない闇の存在達が、地球の中に入り込み、1部の創造主をはじめ、地球の多くの人々の心を捉え、物理世界を占拠してしまっていたからです。

地球で戦争やテロ行為、女性に対する暴力的な支配、自然破壊などが行われ続けているのはそのためです。

しかし、それは地球に住んでいる権力者達が、その事を求めているからこそ起こっている事です。

創造主達は、この地球を安らぎと愛を望む人達の「光の地球」と争いや支配、物質欲に身をゆだねる人達の「学びの地球」に分離する事にしました。

そして本来、光の存在達や純粋な心を今も失わずに生きている人達、支配欲や物質欲などから卒業した人達を「光の地球」に移す事にしました。

他の星々や宇宙から来た人々は、今の地球で、自分自身の事を思いだす事ができないので、一度「光の地球」に移し、そこで目覚めさせてから、自分達の星に返す事にしました。

地球の中でも波動が高い部分を今までの地球から分離し「光の地球」を作るための作業が2010年ころより具体的に始まりました。創造主や大天使達を中心にスピリチュアルなレベルでその仕事は行われました。

2015年初冬になると、物理的な世界でも、今までの地球との分離が進められ、スピリチュアルな世界に作られた「光の地球」と物理世界がつながっていくようになりました。

私達は、この闇が深い地球から「光の地球」への移行をスムーズに行うために、ライトボディヒーリングやデバインライト・ヒーリングセミナーを開発し、人々の不要なエネルギーや感情を処理し、光の世界へ導く準備をどんどん進めてきました。

2016年の3月中旬に、私達は創造主から、

「光の地球」が出来上がったと、報告がありましたので、「光の地球」のゲートが物理世界にも開き、清らかな心を持った多くの人達が「光の地球」に入っていく事になります。

しかしながら、事態はそう簡単ではありませんでした。

光の存在達も、自分達のスピリットを闇の存在に捕えられていたために、自分の意志で「光の地球」に行きたいと願う人があまりにも少なかったのです。

そして、闇の存在達も、自分達がせっかく捕まえた光の存在達が、自分達のもとを離れ、「光の地球」にはいっていく事を恐れ、今まで以上に様々な方法で、光の存在や人間達の心を捉え、真実が見えないようにして、闇が深い地球にとどまらせようとしてきました。

私達が、デバインライトヒーリングを教えた人達でさえも、まだまだ自分達の欲望や感情にとらわれ、光の世界にはすんなりと入れてはもらえない状況です。

私達のメンバーは、まさにアセンションを手伝うために、この地球に送られてきた存在達ばかりなのですが、今も幻影を見せられ、自分の真実の姿や神聖さに気づいていない人も多いようです。

地球は自由意志の星ですから、その本人の意思が最優先されます。

たとえ、闇が多い世界であったとしても、本人がそこに残りたいたいといえ、創造主や光のマスター、天使達でさえもどうする事もできません。

その人は自分の意志で学びの世界に残る事になるのです。

しかし、その人が闇の存在が行っている事に気づき、「光の地球」に生きたいと心から願

い、行動すれば、闇の存在達はその人を手放さなければならないのです。

私達が今、地球のアセンションのために行っている事は、この地球を、闇が深い地球のままにしておきたいと思う存在を、「光の地球」から切り離し、「光の存在」をしっかりと目覚めさせる事です。

そしてアセンションする地球に入れるように、多くの人達を導く事なのです。

PART3 創造主達の学びと凶悪な闇の創造主

それでは、なぜこの地球がこれほど闇の多い世界になったのか、私が知っている事をお話ししたいと思います。

皆さんの中には、平和な日本に長年住んでいるために、この地球はとても平和で安心して住める場所と思っているかもしれません。

しかし、地球の歴史のほとんどは争いの歴史です。

アジアでもヨーロッパでも、世界中いたるところで戦争が行われ、多くの文明や国家は、お互いを滅ぼしあい、人々を殺戮してきました。

もちろん平和な時もありましたが、地球の歴史の多くは争いの時代、権力を奪い合う時代だといってもよいかもしれません。

現在でも、テロリスト達による悲惨な事件や宗教的な争いなどは起こり続けていますし、女性に対する暴力的な支配は戦争に関係なく常に行われ続けています。

日本は、国外からの侵略によって国家が変わ

った事はありませんので、米軍の占領時代をのぞいて表向きひとつの国が 2000 年もの間存続したまれな国です。

そのために、日本はとても平和で問題がない場所のように見えますが、日本の中にも、闇の世界は数知れずあります。

虐待を受け続ける子供や女生達、殺人によって尊い命を奪われる人も絶える事はありません。

放射能汚染の中で蝕まれていく子供達も、同じように被害者です。

私達は、そのような現実も顧みながら、地球と地球に生きる人々のために祈り続けてきましたが、日本や世界の現状は大きく変わる事はありませんでした。

それは、地球人を成長させるために作られた地球の闇があまりにも深く、その闇によって作り上げられた障害を、私達が乗り越える事ができなかつたからでもあります。

私達は、光の創造主と共に、人々のスピリットを闇の世界から救い出し、闇に満ち溢れた世界を光に変えるために努力してきました。そして、私達を光へと導く「光の創造主」と私達に困難な障害を与えて成長させる事をのぞむ「闇の働きをする創造主」がいる事を知りました。

しかし、実際の闇の世界は、あまりにも凶悪で、およそ創造主がつくりだした世界とは思えないものでした。

私達は、光の創造主の意図によってこの闇の世界を司るマスター達(マーベリック&アメリカ)と出会い、共に闇の世界を正していく事になりました。

闇の世界を調べていくと、闇の働きをする創

造主は、悪意をもってこの世界を作ったのではなく、程よい闇のエネルギーによって、多くの人達の学びが行われる事を望んでこの世界を作り出した事を知りました。

然し、現実の闇の世界は、闇の働きをする創造主達とは異なる邪悪な存在達によって統治され、闇の働きをする創造主さえも闇の世界の中にとらわれ自由に行動できない世界になってしまっていたのです。

当然、この闇の世界で学びを行おうとしても、深すぎる闇に飲み込まれ、自らのエネルギーや光を奪われ、学びどころではないのです。多くの光の存在達が、その命を奪われ、尊厳を踏みにじられてきました。

私達が、その事情を知り、闇の働きをする創造主達と仲良くなると、彼らは自分達では、手に負えない凶悪な存在や異世界から来た破壊的な創造主達を処理してくれるように頼んできました。

闇の働きをする創造主から、地球の闇があまりにも深くなったので、その闇を深くした邪悪な存在を退治してくれて言われて、私も困りました。

そして闇のゲートを開いて、深い闇をつくりだした存在を見つけに行くと、そこに待っていたのは、まるでインド神話の破壊神のような姿をした「殺戮の創造主」や「情念の女神」そして、彼らに操られていた闇の創造主のメンバーでした。

彼らは、闇の働きをする創造主がつくりだした存在ではなく、別の宇宙から来た存在でした。

私達は、「光の創造主」と「闇の働きをする創造主」の両方を生みだした創造主である「光と闇の創造の創造主」に出てきてもらい、

事情を話して、この殺戮の創造主達の処理をお願いしました。

すると「光と闇の創造の創造主」は、殺戮の創造主達を、私達の地球に連れてきた理由を話してくれました。

その理由は、これらの凶悪の存在達が地球に関わった時に、「光の創造主」と「闇の働きをする創造主」が、彼らに負ける事なく、地球を守り続ける事ができるかどうか、試していたのだそうです。

つまり、これらの凶悪な創造主に負けないような創造主に育てるために、あえてこのような存在を地球に送り込んだようです。

しかし、光の創造主も闇の働きをする創造主も、この殺戮の創造主や彼がつくりだした情念の女神、幻影の創造主、そしてその手先として動いていた闇の存在や地球外存在達にてこずってしまい、彼らから地球を守る事ができませんでした。

そのために、地球は深い闇の世界に落ち込んでしまったのです。

その言葉に、私達は驚きましたが、地球の闇が深い理由も理解できました。

しかし、殺戮の創造主や情念の女神達は、すでにスピリチュアルな世界のみならず、人々の心を操りながら、地球の多くの人達に深く関わってきていました。

本来ならば、凶悪な創造主達から地球を守るはずの創造主達も、彼らの力に負けて、闇の世界に引き込まれていたのです。

第4章 光りの先住民族とフ

アラオ

PART1 光の地球と先住民族達

私達は、デバインライト・セミナーや現実世界の様々な出来事を通して、物理世界に残る「殺戮の創造主」達のグループと何度も向き合う事になりました。

彼らのエネルギーが、物理世界で強力になり、人々がそのエネルギーにまきこまれてしまうと、地球は光の地球に移行する事もできませんし、人々も彼らから絶えずエゴを植え付けられたり幻影を見せられたりして、純粋なスピリットに統合する事もできません。

彼等は、地球人よりもはるかに能力もパワーも高いので、彼らの罠から逃れる事は大変難しい事です

なぜなら、地球に生きる人々は、彼らから幻影を見せられ、「殺戮の創造主」や「幻影の創造主」などの闇の存在こそが素晴らしい光の存在であり、自分自身にパワーを与え、物欲や支配欲を満たしてくれる存在（神）だと思わされてしまっているのです。

地球人は、その様な幻想や思い込みによって、彼らに依存させられ、自ら離れようとする意志を失わせてしまいます。

地球のルールでは、本人の意思が最も優先されますので、その様な存在に依存する人は、彼らからひき離す事ができず、光の世界に導く事もできないのです。

地球が、闇が多い地球から次第に分離して、

光の地球になっていく過程において、創造主達は、光の地球に入ってくる人々があまりにも少ない事に気づきました。

2016年の1月から3月にかけて、多くの光のゲートが開き、創造主やマスター達だけでなく、アシュタールをはじめ善良なスターピープル達もたくさん地球に入り、光の世界へと入っていく人々をサポートします。

もともと、地球人は、いくつもの星のスターピープルから遺伝子を分けてもらい、それらを融合する事によって、素晴らしい叡智あふれる種族に成長する予定でした。

地球は決して類人猿から時間をかけて成長したのではなく、特別な地球外生命体達の遺伝子を受け継ぐ事で飛躍的に成長してきたのです。

そして、この地球の闇の世界での学びをとおして成長する事で、他の星々にはない叡智とパワーを身につけた種族が生まれてくる予定でした。

地球の人類は、地球での学びと成長を通して、宇宙の仕組みを知り、宇宙の叡智ある存在達と共に活躍する予定でしたが、地球の闇があまりにも深く、創造主達の期待通りには成長しませんでした。

時折、素晴らしい叡智を秘めたマスターが現れ、地球人の意識や文明を飛躍的に進化させてきましたが、地球人の意識そのものが、宇宙の叡智ある存在達と肩を並べるほどに成長する事はありませんでした。

創造主は、そのために、本来の地球から、さらに闇が少ない地球や光の地球を生みだし、そこに光の存在や叡智ある地球人を集め、新たな教育と進化を行わせようと考えたのです。

地球のアセンションの目的の一つは、これからアセンションを迎える星々をサポートするために、闇の多い地球で、闇の対処法やアセンションの方法を学ぶ事です。

そのために、この地球に多くの優秀なスターピープル達やスピリット達が送られてきましたが、そのメンバー達は闇の対処法を学ぶどころか、闇に飲み込まれてしまい、いまだ戻ってこない者もたくさんいるようです。

創造主達は、非常に困り果てて、ひとつの方法をとる事にしました。

それは、乙姫族や卑弥呼族、隼人族などの原住民族のスピリット達を目覚めさせる事です。

地球に学びに来たスピリットの多くは靈感が強く地球や自然に対する感応力もありましたので、多くの者が神官やシャーマン、預言者やヒーラーのような立場になる事が普通でした。

地球は、少し前までは、自然崇拝が行われ、人々が精霊とひとつになってこの地球と地球に生きる生命達を守るという信仰が原住民族の中にありました。

靈感が強い人や自然や霊との感応力が高い人々は、その中で守られ育てられてきたのです。

彼らは、神々や精霊との付き合い方、自然界のエネルギーの守り方やエネルギーの使用法を知っていました。

そして、この地球がアセンションを迎えるときには、そのためのサポートを行う方法も心得ていたのです。

たとえ言語や生活習慣、儀式の方法、住んでいる場所が異なっても、彼らは地球の大地の力によって一つに結ばれていました。

しかし、そのようなシャーマンや神官達、そして先住民族達は、様々な弾圧や抑圧により、この地球から少なくなってきました。

たとえ原住民族の血は体に流れていたとしても、古来から住んでいた場所を追われ、信仰や習俗を奪われた彼らは、伝統的な記憶と能力を失いつつあります。

地球のアセンションのために必要とされる原住民族が、次第にこの地球から少なくなってきたのはとても残念な事です。

創造主達は、原住民族が減少する事によって、地球のアセンションが難しくなると考え、私達に卑弥呼族や乙姫族、かぐや族に続いて隼人族などの原住民族のスピリットを目覚めさせ復活させるように命じてきました。

すでに卑弥呼族や乙姫、かぐや族は復活して活躍していたのですが、最も地球の物理的な世界に近い隼人族などのスピリットを復活させる事で、地球の物理世界に生きる人々を助け、アセンションのサポートをしてもらう事としたのです。

私達は、家の近くの小高い山に散歩に行った時、その山頂に隼人族が封印されていた場所を発見しました。

山の頂にある静かな神社なのですが、そこは元々隼人族の神聖な祭事場でしたが、隼人族を抑えるために、その神聖な場所を破壊し、そのうえに侵略してきた人々の砦を作ってしまった。

現在、砦は神社に変わりましたが、その神社に巣食っていたのは、日本の正当な神々でなく「殺戮の創造主」でした。

その神社は戦勝祈願が、よく行われていた神

社ですので、日本の神々を押しつけて、戦いの神である「殺戮の創造主」が、この神社に居座ったようです。

私達は、高次の創造主達におねがいして、「殺戮の創造主」を処理してもらい、その場を清めて隼人族を目覚めさせたのです。

隼人族が目覚めてくると、彼らはもともと神聖なる祭事場であった場所に光を送り、隼人族の光を集め、隼人族の偉大なスピリット達を復活させました。

そして、それをきっかけとして、地球の各地に封印されていた原住民族達のスピリットを目覚めさせていったようです。

原住民族のスピリットは、地球の物理世界に生きる人々のスピリットにも関わる事が出来ますので、地球に生きる人々が、闇の存在達にとらわれている状態を、少しずつでも改善できます。

そして、これから本格的に始まる地球のアセンションに向けて大きなサポートをしてくれる事でしょう。

PART2 古代文明のアセンションとファラオ

時は少し前後しますが、地球のアセンションは、今回が初めてではありませんでした。地球に古代エジプト文明が起きた時も、地球のアセンションに向けての取り組みがあった事を、2015年の12月に東京で行われた「黄金のファラオと大ピラミッド展」で知る事ができました。

地球の古代文明の多くは、少なからず、地球

にやってきた地球外生命体達（スターピープル）の影響を受けています。

これは、私が20年以上前、メキシコのマヤ文明を訪ねたときピラミッドが建造される意味をリーディングで聞いた事があります。リーディングでは、地球外生命体達（スターピープル）がこの地球で活動する為にピラミッドを活用していた事を教えてくれました。

最初、地球外生命達（スターピープル）が地球上に降りたとき、どこに自分達がいるか知らせるために、巨大なピラミッドを作りました。

もしかしたら、それは彼らが地球に来るために乗ってきた宇宙船だったかもしれません。彼らは、自分達の本拠地となる場所に最初のピラミッドを作り、そこから特殊なエネルギーを放ち、周りに住んでいた類人猿の脳波と遺伝子に刺激を与え類人猿の進化を促進していきました。

やがてピラミッドは、ひとつから複数となり、特定の場所を囲むように設置されて、さらに強力な磁場を持つ空間を作り出します。そして地球外生命達達は、そこに降り立ち、地球人の進化のための仕事を物理次元で始めるのです。

ピラミッドは、地場のエネルギーを高めると共に、人類の遺伝子や肉体の進化を行うための研究所となります。

もちろんこのレベルのピラミッドは、現在には残っていませんが、これらを模倣したものがエジプトやメキシコに残っている石造りのピラミッドなのです。

ピラミッドでもあり人類の進化のための研究所では、主に遺伝子の組み換えによって地

球人を進化させ、合理的な思考や言語能力、道具を使用するための能力、環境や組織を生み出す為の能力を開花させていきます。もちろん地球外生命体（スターピープル）の中でも、各星ごとに大きなプロジェクトが生まれ、地球の異なる場所で、各星ごとに特徴ある地球人が作られてきたようです。

そして地球外生命体達（スターピープル）も、この地球に降りて王や神官として活躍するようになりました。

それは地球の人類達に自分達の能力や思考の方法を手渡す為でしたので、地球人の王や神官が成長してくると、自分達は、その様子を見守る事にしました。

地球外生命体達（スターピープル）の目的は、地球の人類を成長させて、高い叡智を持つ人類を作り、地球を進化させる事でした。

そして、出来うるならば地球をより波動の高い次元に上昇させて、宇宙の叡智ある存在の仲間入りをさせようと考えていました。

古代文明であるレムリアやアトランティス、ムーそして私達にとっても身近な古代エジプト文明などで、アセンションのための試みが行われましたが、完全なアセンションを成し遂げる事はできませんでした。

各文明において、高い意識を保っていたごく少数の人は、個人的なアセンションを成し遂げる事はできましたが、文明そのものをアセンションさせる事はできませんでした。

特に古代エジプトのファラオ達にとっては、地球外生命体（スターピープル）が地球人をより高次の存在として成長させたいという計画は、自分達が作られた目的でもありますので、アセンションに失敗した事はとても悲

しい事でした。

この時代、エジプト文明がアセンションに失敗した理由は、古代エジプト人を指導する立場にあった地球外生命体達と彼らのもとで働いていたファラオ達のグループに、闇の創造主と邪悪な存在達が介入し、彼らの意識を混乱させた事が原因でした。

特に、その当時「ファントム」と呼ばれていた「幻影の創造主」のグループと「殺戮の創造主」達が、彼らに関わる事で、エジプト文明は、ファラオの家族同士が争うような大変な殺戮の場となってしまったのです。

ファラオの家族や親類同士が、お互いを敵とみなし、王の実権を求めて争いを繰り返すうちに、国自体が弱体化していきました。

力が強いファラオが誕生するとしばらくは平和な時代が続きましたが、そのファラオが老齢になると跡取り争いが勃発し、再び殺戮が繰り返され、エジプト王朝そのものが衰退していきました。

古代エジプト初期のファラオは、死後もスピリットとしてエジプト王朝の衰退を苦渋の思いで見えていました。

そして今度こそ、地球を邪悪な存在から取戻し、人々を幸福な世界へと導くのだと、ファラオ達は決心したようです。

2015年の12月に、東京で開催されていた「黄金のファラオと大ピラミッド展」に行った時に、そこに陳列されていた彫像や絵画、宝石類から、私達は多くのメッセージを受け取りました。

そして、私達が会場で椅子に座って休んでいる時に、とても大きなエネルギーがいくつも降りてきました。

それはまさに数体のファラオ達のスピリットでした。

私達は、彼らの言葉に耳を傾けました。ファラオ達は、古代エジプトの始まりや古代エジプトで起こった事、そしてアセンションに失敗した理由などを私達に話かけてきます。

私達はファラオ達の話聞き、ファラオ達がこの地球上で活躍できるように、そのスピリットのエネルギーを私達の体につなぎとめてあげます。

私達の意識や肉体とつながる事で、ファラオ達は、この地球のスピリチュアル・レベルと半ば物理的な世界で活躍する事ができるようになります。

ファラオ達の目的は、現在の地球で、私達と一緒に地球をアセンションさせる事です。彼等も、地球がアセンションできなかつたので、スピリチュアル界に戻る事ができず、この地球の別次元に閉じ込められていたようです。

私達が「黄金のファラオと大ピラミッド展」の会場から出て、隣にあるカフェで休憩したときに、先ほどよりもさらに大きなエネルギーがおりてきました。

エネルギーの数も増え、創造主達のエネルギーも一緒に降りてきています。

彼等は、スピリチュアルなビジョンを通してみると、円を作るように丸くなって立っています。

彼らは厳かな表情で、特別な儀式を行っているようです。

おそらくファラオ達の復活と地球に対する神聖な祈りをささげているようです。

その後ファラオ達は私達と共に行動するよ

うになりました。

そして、その 3 日後に行われたデバインライトヒーリングの茨城セミナーで彼らの目的と働きが理解できました。

私達が、デバインライトヒーリングの伝授を行っている時、突然、強烈で荒々しいエネルギーが襲いかかってきたのです。

私達は呼吸をするのがやっとというくらい、そのエネルギーにサイキックアタックを食らってしまったのです。

その時、部屋からすぐに出て、施設のまえにある広場に来るように、頭の中で声がしました。

私達は、急いで外に出ると、空には私達と仲が良いと地球外生命体達の宇宙船とファラオ達が待ち構えていました。

そして、ファラオ達は、私達につながっていたエネルギーから、「ファントム」と呼ばれる「幻影の創造主」達を探し出し、彼らを取り押さえ光へと返していったようです。

この「ファントム」は、古代エジプトのファラオ達に、自分に敵対している者が、自分を憎み命を狙っているビジョンを見せて、相手に対する殺戮を行わせていたようです。

それは時として王朝を滅ぼすような大きな戦争を引き起こしました。

エジプト王朝は、お互いを殺戮し合っただんどん衰退し滅んでいったのです。

ファラオ達にしてみれば、このファントムと呼ばれる幻影の創造主は、自分達の子孫を殺害させ、エジプト王朝を滅ぼしただけでなく、自分達ファラオ達のスピリットを幽閉し地球のアセンションを妨げた張本人なのです。ファラオ達は、時を超えて、このファントム

達を捕まえ、エジプト時代の悲惨な歴史を清算しようと考えてその機会をずっと待っていたようです。

私達が、創造主と共に活動し、アセンションの仕事をしていると分かった時、ファラオ達は私達の元に、そのエネルギーをつないできました。

それも、私の過去性の一人である「隻眼（せきがん）のファラオ」を通じて行ったようです。

彼は、王朝同士の戦いの中で片目を失い、目に眼帯をしているため「隻眼（せきがん）のファラオ」と呼ばれているようです。

それ以降ファラオ達は、私達の活動を通して、「殺戮の創造主」「幻影の創造主」など邪悪な創造主がスピリチュアル次元、物理次元に現れた時には、誰よりも早くその場所に駆けつけ、彼らを光に返したり、彼らによって捕らわれているスピリット達を救出する役目を担ってくれています。

彼らにとっても、私達にとっても、光に向かう地球から、邪悪な創造主や闇の存在を引きはなし、光ある存在達を守る事は大切な仕事なのです。

ファラオ達は、原住民族と同じように、素晴らしいアセンションの担い手なのです。

PART3 すべての光を食らう創造主

さて話は、あるときの事、女神イシスのエネルギーにつながったクリスタルを手にしたところ、クリスタルを通じて女神イシスからの緊急のSOSを受け取りました。

どうやら、どこかに閉じ込められているようです。

私達はすぐに瞑想に入り、騎士団や天狗族や、創造主達にお願いしてイシスの捜索に入りました。

クリスタルを通して私達につながっていた、今にもきれいな声を頼りに探していくと、その声は深い闇の中に入りました。

私達は、闇の中を辿り、奥へ奥へと入っていききました。

すると女神イシスが意識も失うばかりに傷つき、蜘蛛の巣のような場所に捕えられていたのです。

私達は、急いで女神イシスを救出し、創造主達の光をイシスにみたしイシスを癒していきます。

大天使ハニエル達も心配して出てきてくれました。

私達は、さらに誰が女神イシスを捕えていたか探していたところ、一人のひげを生やした重々しい雰囲気存在が現れました。

名前を聞くと「すべての光を食らう創造主」という名前で、多くの存在達から光を奪い取りその光を基にして活動しているようです。話をすると、どうやら「殺戮の創造主」や「幻想の創造主」などもこの創造主から生み出されたようです。

彼はあまり表に出る事なく、下の創造主達に、現実世界での仕事を任せ、光が強い女神や天使がいれば、それを捕えてエネルギーを奪っていくようです。

女神達は、蜘蛛の巣にかかった蝶のように、もがき苦しみ傷ついていきます。

あまりにもその惨いやり方に、光の創造主や

騎士団も怒りを覚えています。

私は、相手が闇の創造主とはいえ、創造主である事に変わりはないので、その当時、私達の最上位の創造主である審判の創造主を呼び、処理をお願いしました。

審判の創造主は、この「すべての光を食らう創造主」は、自分達の宇宙に属する創造主ではないので、私達の世界に勝手に関わってはいけない事を話しています。

しかし、もとはといえば、私達の世界の創造主達が、異世界との間にゲートを開き、この創造主を招き入れた事に原因があるようなので、彼には、元の世界に帰ってもらう事にしました。

私達は、彼が自分の世界に帰る前に、彼につながるゲートを全て開き、彼が捉えている女神や天使、そして人々のスピリットを次々と開放してもらいます。

その数はあまりにも多く、天使達にも来てもらい、皆で協力し合って、この創造主にとらわれていた存在達のスピリットを開放していきます。

この「すべての光を食らう創造主」は、光に向かう地球からは退散するようですが、学びが多い地球には、「殺戮の創造主」や「幻想の創造主」達と共にとどまるようです。

このような創造主が残っているとすれば、その世界は本当に未来に希望が持てない世界になりそうです。

光の世界からは、「すべての光を食らう創造主」達は退散する事になりましたが、その安心もやがて壊される事になります。

第5章 創造主の世界の立て

直し 太陽と月の創造主

PART1 光の地球への変容についてー創造主の世界の立て直し

昨日、2016年4月3日はとても大きなエネルギーの変容があった事をお伝えしました。

それは、現在の地球と宇宙が大きく様変わりをした日でもあります。

さて、その日、何が起きたのか、お話ししたいと思います。

私達は、創造主と共に、光の地球を作るために、地球と宇宙に残る問題を解決していました。

闇が多い地球から、光の地球を生み出すためには、今までの地球から脱皮しなければならないのですが、その脱皮を妨げ、光の地球の誕生を阻止したり、光を持った人々が光の世界に行かないように、そのスピリットを捉えたりする存在がいます。

そしてそれらの存在は、まさに光の創造主の1部から作られてきたという事が分かったのです。

この地球と宇宙を創造し運営する創造主達が、光の地球が生まれる事を妨げるというのは、非常に信じがたい事ですが、光の創造主の中にも地球のアセンションを妨げ、新しくできる地球を、自分が都合よく支配したいと考える創造主がいるのです。

創造主は、自分達が成長するための学びとし

て、エゴや支配欲をもって生まれてくる事もあります。

そして厄介な事に、高い次元にいる創造主ほど、この地球の物理次元が見えていませんので、この地球でどのような悲惨な事件が起きているか、地球がどのくらい大きな闇におおわれているか理解できていません。

多くの光の存在達が、学びのために地球に降りても闇の力に押しつぶされたり、マスターや大天使達が、地球が少しでも光の世界になるように光を送ったとしても、かえってその力を奪われたりしている事も知らないのです。

特に地球のために働きたいと考えている人々や純粹で誠実な意識を持っている人達のスピリットも、光が多いスピリットですので、闇の存在や狡猾な地球外生命体（ダークピープル）達に捕えられています。

闇の存在に捕えられたスピリット達は、闇のエネルギーの影響によって、憎しみや怒り、不安や恐れ of 感情を強く持ち、他人を傷つける事を平気で行いますので、光の世界に入る事ができなくなります。

私達は、地球で起こっている問題を処理しながら、闇の存在や悪意のある地球外生命体（ダークピープル）達に捕えられたスピリットを救出し、光の世界に行くべき人達に、進むべき道を指し示しています。

しかし、私達が救出しようとしても、かたくなに闇の世界に居残る事を望むスピリットもあり、闇の世界から救出できない場合もあります。

それは、そのスピリット自身が、闇の世界が魅力的で楽しいから、と闇の存在達にだまされている事や闇の存在達に依存している事

が多いからです。

実は、私達が住む宇宙には、闇の存在や闇の創造主達を作り、地球と宇宙を支配しようとしている創造主達もいるのです。

私達は、そのような創造主が考え方を変えて、もっと慈しみ深い創造主に変わってもらえるように話しをしますが、なかなかうまくいきません。

創造主の世界は、日本の会社と同じで縦社会です。

上の立場にいる創造主が間違えた事を指示しても、下の創造主は逆らえず、その指示を実行しなければなりません。

上にいる創造主が自己中心的な考えで指示を出していたために、正しくない指示を受けた創造主の行いによって、地球の闇のエネルギーが強くなり、抑圧や争いが多い世界になってしまったのです。

その様な創造主達の問題を修正し、地球のアセンションを進めている私達に対して、自己中心的な考え方をする創造主やその部下である存在達からは、サイキックな攻撃が常に行われてきます。

彼等は、私達が、地球人を操り地球を支配しようとしている存在達の正体を明らかにする事を恐れているのです。

問題がある創造主達は、自分の不正な行いが暴かれると、創造主の任務を解かれて、地球に人間として生まれ変わるか、上位の創造主のもとに光として帰らされてしまうので、私達の動きを止めたいようです。

しかし、光の地球を作る事に反対していた創造主や光の世界を作ったとしても、自分が中

心となって地球を支配したいと考えていた創造主達の問題も、ようやく解決する事ができました。

それに伴って、彼らに従っていた闇の存在も片付け、捕らわれていた人々のスピリットの多くを開放する事ができました。

PART2 宇宙と創造主の仕組みを学ぶ

私達は、2013年ころから行われていた「星のツアー」をとおして、天の川銀河の各星座を統治する創造主や天の川銀河全体を守護する創造主達、さらには、天の川銀河を超えてアンドロメダ星座やオリオン星雲などを統治する創造主達の仕組みを学び、彼等と共に活動してきました。

そして物理世界を超えて、宇宙のスピリチュアル・レベルの創造主の世界にも入っていきました。

そこには、天の川銀河を含む大宇宙のスピリチュアルな世界を統治する創造主である「エンソフ」と宇宙の創造の源である「愛の源の創造主」達が待っていました。

それからというもの、私達の活躍の舞台は更に広がり、この宇宙のスピリチュアル・レベルに存在する創造主に関わる問題にも取り組むことになりました。

私達が解決できない問題が起こると、必ず今までよりもさらに高い位置に属する創造主が出てきてくださり、問題を解決する事を手伝ってくれました。

やがて私達は、宇宙と創造主の世界について多くの事を学び、その仕組みをすこしずつ理

解できるようになりました。

すると高次の創造主は、私達にとんでもない仕事を与えてきました。

それは、地球の人達を教育するという名目で地球人を抑圧していた創造主や地球に来た光の存在達の光を奪う事をしていた創造主達を調べて、光の創造主の世界を立て直すという仕事でした。

PART3 地球を変えた創造主のエゴ

高次元の創造主は、地球に生きる私達の目を通して、この地球の物理世界を見た時、この地球が、創造主達が考えているよりもはるかに闇にまみれ、人々のスピリットが捕えられて、人間の成長や進化が行われていない事に気づいたのです。

創造主は、私達にその原因を探らせるために、私達を人間として地球に生み出し、地球のみならず太陽系や天の川銀河の創造主、スピリチュアル・レベルの創造主の事を全て調べさせていたのです。

私達は、闇の存在の正体を暴き、そのような暴挙を命じていた創造主の事を調べてきました。

そして、その証拠を基に問題がある創造主を創造主の任務から解任し、彼を学びの世界である地球に送ったり、より高次の光のもとに返す事で、創造主に関わる問題を解決してきました。

闇の存在達を捕まえ、そこからつながっているゲートを調べる事で、その存在を生み出した創造主やそれらの存在をこの地球に送り

込んだ創造主達が明らかになっていきます。

私達は、下のレベルから、少しずつ上のレベルへと進み、地球を闇に落とし込んでいた創造主の頂点となる創造主を見つけだしました。

それが「すべての星を創造する創造主」だったのでした。

もちろん「すべての星を創造する創造主」の上にも創造主はいます。

「神々を創造する創造主」と「女神を創造する創造主」そして彼らを生みだした「すべてを創造するワネスの創造主」です。

この宇宙は、私達が現在知るところでは、「すべてを創造するワネスの創造主」によって生み出されたようですが、その下にある「神々を創造する創造主」と「女神を創造する創造主」がきちんと機能していなかったために、「すべての星を創造する創造主」が支配欲をだし暴走したようです。

私達は、「すべてを創造するワネスの創造主」の計画に基づいてこの宇宙と創造主の事を調べるよう活動させられていました。

そして多くの創造主の問題を片付け「すべての星を創造する創造主」にまでたどり着く事で、地球に大きな闇をもたらしていた創造主の全貌が明らかになってきたのです。

創造主が、闇に落ちていった理由は、地球や宇宙の支配権を創造主同士で争っていた為です。

最高次元の創造主は、新たな光の地球を生みだし、その地球を「月の創造主」と「太陽の創造主」によって指導しようと考えていたのですが、それに反発する「すべての星を創造する創造主」が、自分のパワーを高め、地球

の支配権を奪い取る為に、闇の世界の存在達と手を組んだのです。

もともと「星を創造する創造主」は、宇宙に存在する星々を創造するという素晴らしい仕事を担っている創造主でもあり、さらに上位の創造主である「空間を創造する創造主」に頼まれて、闇の存在の流刑地を管理する責任者でもありましたが、いつしか、闇の存在達のパワーに惑わされて支配欲やエゴを持ち、自分自身がこの宇宙のすべてを支配したいと考えたようでした。

その為に、自分よりも信頼されている「太陽の創造主」と「月の創造主」を封じ込めるために、「太陽の創造主」と「月の創造主」の偽物である「日食の創造主」、「月食の創造主」を作り出しました。

そして「すべての星を創造する創造主」は、多くの創造主達を「日食の創造主」と「月食の創造主」が本物の創造主の姿にばけて統治するように仕向けたのです。

もちろん、本来この宇宙を統治する役目にある「太陽の創造主」の動きは封じ込められ、「月の創造主」に至っては、異なる次元に封印されていたようです。

「すべての星を創造する創造主」は、自分の部下である「すべての光と闇を創造する創造主」と「すべてのものを神聖さに導く創造主」に命じて、この地球を深い闇に落とし込み、光を持つ存在達から光を奪うために、物理世界で活躍できる凶悪な創造主達を生みださせました。

その創造主達が、「すべての光を飲み込む創造主」「幻影の創造主」「殺戮の創造主」「情念の女神」達でした。

さらに「宇宙の時を創造する創造主」に命じて、人の心やスピリットを我が物にするために「束縛の創造主」も生みだしました。

これらの創造主は、自分の勢力を広げるために、地球人だけでなく、他の星々の叡智ある存在、フェアリーや天使達、神々や女神、そして多くの創造主達も虜にしてしまいました。

彼らは、創造主や光ある存在達に取り入り、彼らの意識を欲望とエゴに満ちたものに変えていったのです。

偽りの創造主である「日食の創造主」と「月食の創造主」の光を受け取った天の川銀河の創造主や大宇宙の創造主達も次第にエゴと支配欲が高まり、天の川銀河や地球を自分達の手で支配したいと考えたために、それぞれの世界の闇の存在達とつながってしまいました。

程よい闇のエネルギーは、人々に成長のためのきっかけを与えますので、その人が成長するためには必要な事なのですが、行き過ぎた闇は、その人を抑圧したり過度に傷つけたりしますので、成長どころか、その人の希望や向上心を奪い、大きな挫折と絶望感を与えてしまいます。

闇と手を組んだ創造主達は、いつも地球の人々を鍛えるためだ、成長させるためだといってその人が乗り越える事ができない程の困難や苦しみを与え、絶望感を与えて未来への希望を奪ってしまいます。

そしていつしか、闇の存在達に操られ、闇の存在に依存するようになり、自分本来の生き方ができなくなってしまいます。

それは地球に生きる人間だけでなく他の

星々の人々や地球や天の川銀河にかかわる神々やマスター、そして宇宙の創造と運営を司る創造主に対しても行われましたので、私達はその事を解決するために、長い時間をかけて旅してきたのです。

第6章 物理的な宇宙の創造

主達が抱える闇

PART1 物理的な宇宙の創造主達が抱える闇

この「すべての星を創造する創造主」の暴走に危険を感じた上位の創造主が、私達に命じて「すべての星を創造する創造主」の行っていた事を明らかにした事で、彼は光に返っていきました。

そしてこの創造主によって封じ込められていた「太陽の創造主」と「月の創造主」の力を開放し、これからの宇宙を「月の創造主」を中心とした創造主によって運営する事に決定しました。

「月の創造主」と「太陽の創造主」の光が、スピリチュアルな宇宙の高い次元から、物理世界にむかって、幾多もの創造主の間を駆け抜けながら降りていきます。

しかしながら、数名の創造主には、その光がうまく流れていないようです。

大きな反発のエネルギーも起きているようですので、私達は最高次元の創造主の世界から、ひとつずつ次元を下りながら、「すべての星を創造する創造主」の影響下にある創造主を調べる事にしました。

すると未だに、「月の創造主」が中心となって光の地球を統治する事に反発している創造主達がたくさんいる事に気づきました。

彼らは、「月の創造主」は、「太陽の創造主」の影の存在なので、「月の創造主」の力では弱すぎて、きちんとした宇宙の創造ができな

いと言います。

自分達は、もっと刺激に満ちて楽しく様々なアクシデントがある宇宙が好ましいと言っているのです。

本来「月の創造主」は、「太陽の創造主」の陰にあたる存在ではなく、独自の光を持っています。

その光は、この宇宙に安らぎと調和、公正さと真実を導く力にあふれています。

「すべての星を創造する創造主」達は、「月の創造主」の光が宇宙に流れてくると、闇とつながって行動している自分達の正体がすべてばれてしまうので、「月の創造主」を力のない創造主であり、この「月の創造主」が出てくると、宇宙は闇に蔽われ混乱してしまうと、多くの創造主達に吹聴し、「月の創造主」に反発を抱かせるようにしたのです。

その為に、「太陽の創造主」と「月の創造主」の光をこの物理世界で広げる役目を持つ私達の活動を止めようと、多くの創造主やマスター、女神達が、絶えずサイキックアタックを仕掛けてきました。

しかし私達は、光の創造主と協力して、サイキックアタックを仕掛けてきた相手を突き止め、その存在を通して「月の創造主」に反発している闇の存在や創造主、地球外生命体達を見つけ出し、次々と処理していきました。

私達は、「月の創造主」に反発する天の川銀河の創造主達に、闇に蔽われた地球の様子を見せる事で、彼らをだましてきた「すべての星を創造する創造主」が行ってきた事を理解してもらいました。

すると創造主は、自分達が偽りの創造主達にだまされ、「殺戮の創造主」や「幻影の創造主」のもとに働かされていた事に気づいたよ

うです。

欺かれていた創造主達は、自ら責任を取って、学びのために地球に降りたり上位の創造主の元に光となって帰っていきました。

私達は、スピリチュアル・レベルの創造主の処理が終わると、この物理的な宇宙を創造し運営するエンソフと共に、物理的な宇宙の創造主やマスター達も調べる事にしました。

現在、この物理的な宇宙を統治している創造主のリーダーは、「エンソフ」と呼ばれる創造主です。

彼は、創造主達の不穏な動きを察知した「空間を創造する創造主」によって送り込まれた創造主ですので、私達が「すべての星を創造する創造主」達のグループがやってきた事を明るみに出し、処理できた事を大変喜んでいきます。

私達がエンソフと共に、物理的な宇宙の創造主を調べていくとさらに大変な事が分かりました。

天の川銀河だけでなくアンドロメダ銀河やオリオン星雲などをふくめた物理的な大宇宙を生み出す創造主である「ブラフマン」が大変な闇にまみれているのです。

そして、「ブラフマン」だけでなく、この物理的な宇宙を運営している中心的な創造主である「界王」や彼に仕える創造主達の多くが、「日食の創造主」や「月食の創造主」の影響を受けて、自己中心的な考え方に陥っていました。

おそらく「日食の創造主」や「月食の創造主」は、エンソフや宇宙の創造を行うセントラルレース達が、自分達の指示にあまり従わない

ために、物理次元の創造主達を直接味方につけて、物理的な宇宙や地球の支配を行おうとしたようです。

私達は、さらに多くの創造主を調べてみると、その半数以上の創造主達が、光の創造主であるにも関わらず、凶悪な闇の創造主である「殺戮の創造主」や「幻影の創造主」につながり、最終的には、この宇宙を自分の手で支配しようとする「すべての星を創造する創造主」につながっていたのです。

そして創造主によって生み出されたマスターや女神、地球外生命体達までもが、闇のエネルギーに取り込まれ、彼らが本来持っている神聖さや愛のエネルギーを失っていたのです。

創造主達がそのような状況にあったために、宇宙の各地で、創造主同士の争い、文明が進んだ宇宙人達による戦争や侵略、光ある存在に対する抑圧や支配などが起きていたのでしょう。

地球も、凶悪な闇の創造主につながる創造主達が運営に関わっていたために、彼らによって操られた政治家や宗教家によって戦争や侵略、宗教を理由とした弾圧が繰り返し行われ、多くの人達が犠牲になりました。

私達は、創造主の系譜に従って創造主達を調べ、問題がある創造主達を突き止め、この事を解決していきました。

「すべての星を創造する創造主」につながる創造主は自ら学びが多い地球にディセンションするか光に帰っていきました。

時間はかかりましたが、やがて物理的な宇宙を司る創造主達は、「月の創造主」と「太陽

の創造主」につながる創造主だけになっていきました。

地球のみならず宇宙そのものを運営する創造主達から「すべての星を創造する創造主」達のエネルギーが消えていきます。

そして「月の創造主」と「太陽の創造主」による、愛と調和に満ちた光が、物理世界の地球にも流れ込み、地球のエネルギーもどんどん浄化され素晴らしいものになっていきます。

生れたばかりの「光の地球」も、闇の創造主の支配から脱却し、「月の創造主」「太陽の創造主」そして「すべてを創造するワネスの創造主」の光に満ち溢れ、光ある存在達を迎え入れる準備ができたようです。

「光の地球」は、今私達の前に大きなゲートを開き、私達を招きいれています。

それが、4月になって起こった地球と宇宙の変容と大きなアセンションへの進化でした。そしてこの光にあふれた世界へ進むために、私達は4月10日の祈りの会の時に、この地球に光のゲートを開いていきます。

PART2 地球に残された黄泉の世界へのゲート

私達は、光のゲートを地球に開く前にいくつかの問題を解決する必要がありました。

その一つが、地球の物理次元の近くにある「黄泉の世界」のゲートを閉ざす事でした。

「黄泉の世界」のゲートが物理世界に開く事によって、地球に生きていた人々が死んだ時に行く死後の世界と未だ生きている人々が暮らす地上との間に通路ができてしまいます。

すると地上に未練を残す死者が地上に現れ、生きている人に取りつき地上の人々に悪しき影響を与えてしまいます。

これが、俗にいう「不浄霊」や「憑依霊」と呼ばれるものです。

そして、「黄泉の世界」のゲートが開く事で、生きている人も、このような霊的なものに深く興味をもち、死に憧れたり、自殺をしたりする事にもなってしまいます。

あるいは精神疾患や霊媒体質になり、霊的現象に悩まされるようになる人も出てきます。

私達は、「黄泉の世界」のゲートを通して「黄泉の世界」へと入って行きました。

この世界は、日本では「月読命」と呼ばれる神が統治しているのですが、私達が中に入っていくと「月読命」も、「黄泉の世界」の混乱に困った顔をしています。

この「黄泉の世界」にも、多くの闇の存在が入り込み、勝手にゲートを開いて、地上に未練を持つ死者を使って、地上に生きている人々の魂を「黄泉の世界」に引きずり込もうとしているのです。

私達は、死者の世界を司る大天使アズラエルや闇の世界を統治するマーベリック達にも来てもらい「黄泉の世界」を調べてもらいました。

そして、本来許可されていないにも関わらず「黄泉の世界」で暗躍している存在達を調べ上げ、彼らを光に返し、次々とゲートを閉ざして行きました。

学びが多い世界にとっては、この世界との交流はまだ行われるようですが、光に向かう地球では、「黄泉の世界」との交流は禁じられ

ていきますので、このゲートは閉じてしまい、生者と死者の世界をしっかりと分ける事にしました。

PART3 欺かれていた日本の神々

「黄泉の世界」の処理を行い、もう地球は大丈夫だと思っていた矢先、私達は強烈な痛みを体に感じました。

調べてみると、私達の身近で、私達と共に活動していたはずの日本の神々が私達にサイキックアタックを仕掛けている事に気づきました。

本来、私達を守護する立場にあった神々が、私達を守護するどころか、闇の存在達と一緒に私達を攻撃しているのです。

すぐに調べると、やはり「すべての星を創造する創造主」達にだまされていたようです。地球に「月の創造主」が復活すると、地球で活躍している神々は大変な事になる、「月の創造主」の復活を止めないと地球の未来は危険なものになってしまう」という事を吹聴されていたようです。

その為に「月の創造主」の復活を阻止したくて攻撃を行っていたようです。

ところが一人だけそのような状況から私達を守ろうとする神がいました。大国主大神です。

彼は、月の創造主に恩があるからと言ってきました。

不思議に思い聞いてみると、かつて「月の創造主」が地球のスピリチュアル次元に降りてきた時、「月の創造主」に化けた「日食の女神」が日本の神々にひどい仕打ちをした事が

ありました。

その様子を見て、本物の「月の創造主」が大国主大神をはじめ数名の神々を救い出してくれたそうです。

それによって、あの時に現れた「月の創造主」は偽物で、本物の「月の創造主」は良い存在である事を大国主大神は気づいていたのですが、他の神々が「すべての星を創造する創造主」にだまされていたので、それを言い出せずにいたようです。

私達は大国主大神に頼んで、日本の神々を集めてもらい、「日食の女神」が「月の創造主」の名前をかたって、日本の神々にひどい仕打ちをした時の様子を、時間をさかのぼって見に行く事にしました。

私達の宇宙船である「フェニックス号」を呼んで、日本の神々に乗ってもらい、問題の時まで時間をさかのぼります。

その時代、「日食の創造主」が月の創造主を陥れるために、月の創造主にばけて、日本の土地を荒らしまわり、日本の神々を傷つけていた様子を私達は見て回りました。

日本の神々もその様子を見て唖然としています。

いままで「月の創造主」から傷つけられたために、「月の創造主」の時代が来る事に反発し、「すべての星を創造する創造主」の指示に従っていた日本の神々は、自分達がだまされていた事に気づいたのです。

日本の神々はこの事を知り、「月の創造主」に対する誤解も解けたようですが、一部の神々はまだ納得ができない様子で、自ら日本の神々の立場を捨て、光の世界に帰っていく者もいました。

きっと騙されていた自分自身が許せなかつ

たのでしょう。

この事を通して日本の神々も、「太陽の創造主」と「月の創造主」のもとに戻り、新たな日本の神々の世界を構成し、地球のアセンションに向けて共に活動するようになりました。

PART4 地球に関わる地球外生命体達の秘密

ようやく「すべての星を創造する創造主」のグループを処理し、地球の黄泉の世界も片付け、日本の神々も新しく生まれ変わったところで、地球のアセンションを阻む最大の問題に取り組む事になりました。

それが、地球人に関わる地球外生命体（ダーク）達の問題です。

以前から、様々な地球外生命体達が、次々と私達の前に現れ、地球人と地球外生命体達の複雑な関係を見せられていただけに、彼ら进行处理する事は、本当に厄介な問題なのです。

地球外生命体達の事を大まかに話すといくつかの立場に分かれます。

ひとつは、地球人を生みだし、地球人を叡智ある存在に育てていこうとする地球外生命体達、これは、プレアデイスやシリウス、そしてアンドロメダ座などから地球人をサポートするために来ている人々や地球外生命体達の連合体である「アシュタール」や銀河連合達のグループが存在しています。

彼らは、「スターピープル」として宇宙の平和と秩序を守るために働いています。

そして、彼等とは逆に地球人に取り入り、地

球人を支配しようともくろむ地球外生命体達もいます。

彼らは、人間の様々な欲望やエゴ、特に支配欲や物欲、名誉欲、性欲などを利用して、人間をコントロールするダークピープル達です。

彼らの多くは、人間よりもはるかに優れた知識や能力、パワーを持っていますので、人間は自分の欲望をかなえてくれる存在に対して盲目的に従ってしまいます。

その結果、彼らの意のままにコントロールされ、感情のない冷徹な人間になったり、人を支配し抑圧する事を好んで行ったりする人になってしまいます。

人を平気で傷つける人やよく嘘を言う人、自己中心的な行動ばかりをとる人も、彼らのエネルギーの影響を受けているといってもよいかもかもしれません。

地球外生命体達は、地球が今、アセンションを迎え、様々な次元に対してゲートを開いている事を利用して、いろんな星や世界から地球にやってきます。

そして地球人を研究し、地球人をうまく利用する事で自分達のテリトリーを広げているのですが、特にディセンションした星からやってきた地球外生命体（ダークピープル）達は厄介です。

宇宙には、地球に先駆けてアセンションした星がいくつもあります。

物理世界で起こるアセンションを簡単に言うと、いままで、平和を好む人も争いを好む人も一緒に住んでいたひとつの星を2つに分けて、ひとつの星を、平和を好む種族に与え、もう一つの星を、争いを好む種族に与えてお互いが交流できないようにする事とい

ってもよいかもしれません。

その星に住んでいる人は、平和な星に行くのか、争いが多い星に行くのか自分で選ぶ事ができます。

平和な星に行きたい人は、自分自身もますます平和になり成長していきますが、争いが多い星を選んだ人達は、ますます支配欲を高め、さらに強力なパワーで争うようになります。

そして、地球も今、光の多い平和を求める地球と闇が多い欲望に満ちた地球に分かれつつあります。

そして、私達は、これから自分が選んだ世界で、自分と同じような考えの人々と共に生活したり、地球外生命体達と共に活動する事ができるようになります。

しかし問題なのは、光が多い地球と闇が多い地球が、物理世界ではまだつながっているという事です。

すでにスピリチュアル・レベルでは分離が始まり、異なる考え方の人達は触れ合わないようになってきていますが、地球の物理世界は、まだ分離の途中なので、異なる考え方の人達が同じ世界に住んでいます。

その事を利用して、ディセンションした星の人達、つまり争いや支配が好きな星のダークピープルが、欲望の多い地球人を通して地球に入り込んできます。

そして、光の世界に行こうとする人達が持っているエゴを利用して、光を持っている人達に取り込み、彼らを、自分達の闇の世界に引きずり込もうとしているのです。

彼らの誘惑に対して、はっきりと NO といえる人は良いのですが、彼らは常に神々しい

姿や魅惑的な姿をして現れますので、地球人は、彼らが本物の神や尊敬すべき存在であると勘違いして彼らに従います。

彼らは、地球人よりもはるかに高い知恵やパワー、様々な能力を持っていますので、そのような力を見せつけ、その力を使って経済的・政治的な成功を与えたりする事で、その人を自分に従わせようとします。

あるいは、特殊な能力をその人に与え、多くの人に慕われたり、経済的な満足感を与える事で、その能力や能力を与えた人達（ダークピープル）に心酔し従うように仕向けていきます。

その事を行っているのが凶悪で狡猾な地球外生命体（ダークピープル）達とは、誰も思わないので、地球人は経済的・政治的成功を収めようと思い、次々とその力を求め、依存して行くのです。

その結果、地球外生命体（ダークピープル）達に、自分自身の意志やエネルギーを使用する許可を与え、彼らと共に生きていく事になります。

そうになると、人々のスピリットまでもが、彼らにコントロールされ、地球人本来の素直で優しい性格が失われてしまいます。

また光ある存在達や純粋な心を持った子供達、優しく素朴な人々のエネルギーも奪われ傷つけられて行くのです。

彼らの中には、本来は光の地球に入るために生れてきた人達もたくさんいますが、ダークピープル達によってその道を絶たれてしまい、彼らから支配される人生を送る事になってしまいます。

私達は、そのような現状を見定めながら、ア

シュタールやスターピープル達、多くの創造主達と協力して、ダークピープルの処理を行っています。

なぜ私達がスターピープルや創造主と共に活動しているかというと、地球人を脅かす地球外生命体（ダークピープル）達は地球の人々と現実的世界に深く関わっているために、同じ現実世界に生きる私達を通してしか、彼らに対処する事ができないのです。

地球では、地球の物理世界に生きている人の許可や関わりがないと、地球外生命体達は行動できないというルールがあるので、アシュタールやスターピープル達は、私達を通して働いているという事になります。

もちろんダークピープル達はそのようなルールを無視して地球人に関わっていきます。

第7章 地球のアセンション

評議会

PART1 太陽の創造主と月の創造主の間達

私達はこのような状況を改善するために、太陽の創造主と月の創造主の仕事をサポートするグループを新たに作り出す事にしました。

アセンション後の光の地球は、「月の創造主」が担当する事になっているので、多くの作業が「月の創造主」にまかされています。

まず私達は、月の創造主の仕事を分担するために、「月の創造主」の分身を作り出す事にしました。

それが満月の女神、半月の女神、三日月の女神、新月の女神、有明月の女神達です。

彼女達は、月の女神の特質を持ちながら、すべて光の度合いが異なりますので、自分に合った次元や世界で活躍する事が出来ます。

この月の女神達が生まれた事で、光の世界から闇の世界まで、すべての世界を見通し、月の創造主の特質である調和と安らぎのエネルギーを、その世界に満たす事が出来ます。

そして、月の創造主の系列をさらに強化するために、「癒しと正義の女神達」を生み出しました。

これは、月の創造主を生み出した「女神を創造する創造主」によって、月の女神と大天使ミカエルの力を混ぜ合わせて作られた女神達です。

彼女達は、闇を払いのけ、傷ついた人達を救

い出して癒す事が出来る女神達です。
この女神達が、地球にたくさん降り達、光の世界に向かう人々を助け出しに行きました。

さらに私達は、月の女神をサポートする太陽の創造主の分身も5名作り出しました。
彼らは太陽の貴公子と呼ばれ、月の女神達と協力して仕事を行います。
太陽の貴公子と月の女神は、常に一組になってさまざまな次元に入り、地球のアセンションの準備を進めます。

太陽の創造主からも、「生命の創造主」という系列が生み出されました。

「宇宙のすべてを創造するワannesの創造主」や「創造主を生みだす創造主」そして「太陽の創造主」、大天使ミカエルの力を借りて、宇宙に生れる生命達に力を与え、その生育を助ける創造主達の系列が出来上がりました。

そして彼らをサポートするための騎士団も作られました。

闇の世界から光の地球を生み出すために、闇のエネルギーに負けずに活動できる漆黒のドラゴン騎士団と宇宙の正義を守り続ける虹のミカエル騎士団そして、闇の世界でも自由に行動できる大天使ルシエル達の力を借りて、月の創造主と太陽の創造主を守る月光の騎士団が結成されました。

月光の騎士団のおかげで、「月の創造主」と「太陽の創造主」は更に力強く働けるようになりました。

今回新しく生まれた5人の月の女神達、5人の太陽の貴公子達、そして「太陽の創造主」の系列である「生命の創造主」、「月の創造主」の系列である「癒しと正義の女神達」、また彼らを守護する「月光の騎士団」によって、

新たに生まれた光の地球とその地球に向かう人々が守られていく事になります。

PART2 地球のアセンション評議会

太陽の創造主と月の創造主の仲間を増やしエネルギーを強化したところで、肝心の地球の状況はというと、闇の創造主やこの地球を支配したいという地球外生命体達にやり放題にされて、なかなかまとまりがありません。

地球側の代表であるサナート・クマラやサナンダ、そして地球のマスター達も協力体制ができておらず十分に自分達の力を発揮できないようです。

いえ、それ以上に、彼らのスピリットも常に闇の創造主達に捕えられ、彼ら本来の活動をさせてもらえない状態が続いています。

最近特に、地球外生命体（ダークピープル）達の力が強まり、「紫色のピラミッド」をシンボルとしたグループが大きく台頭してきました。

彼らは、人間の支配欲や物欲を利用して、この地球の中に入り込んできた地球外生命体（ダークピープル）達ですが、ひとつの星だけでなくいくつもの星の連合体のようです。それも、ディセンションした星々のメンバー達です。

そして恐るべき事に、善良なスターピープルの集合体である「光のアシュタール」に対抗するために「闇のアシュタール」を作り、その活動を地球にまで伸ばしてきたダークピープル達もいます。

この事にアシュタールのメンバー達は大き

な危惧を感じ、私達にもその処理をしてもらいたいという事を訴えてきます。

私達は、この地球を支配的なダークピープル達から守るために、地球と天の川銀河のマスターやスターピープル達で「地球のアセンション評議会」を結成する事にしました。

「アセンション評議会」の代表は、サナート・クマラと天照大御神が担い、サナンダやイエス、そして地球に降り立った事があるアセンテッド・マスター達がサポートします。「アセンション評議会」は、まず光に向かう地球から「闇の創造主」の影響力を取り除き、ダークピープル達から光の世界に向かう地球人を守護する事を最初の目的としました。

ダークピープル達と人間に関しては重要なルールがあります。

それは、自分の欲望や依存心のために、自分からダークピープル達につながりたいと考えている人は、地球人の意思が優先されるので、その人とダークピープルを分離する事はできないというルールです。

このルールを悪用して、ダークピープル達は、自分の姿を偉大な神々のように見せたり、特別な力を地球人に授ける事で、人々はダークピープル達を信頼し依存してしまいます。そうするとダークピープル達は、その人の意識の中にはいりこんで、自分達が活動できる環境を作ってしまうのです。

だまされたといっても、地球人自身が彼らのごまかしを見破り、彼らを拒絶する事をしなければ、このルールは適用されてしまいます。そして、そのようなダークピープル達と共に歩む人は、それ相應のディセンションした世界に行く事になるのです。

私達は、そのルールそのものを変える事が許されていないので、このルールにもう一つルールを付け加える事にしました。

それは、ダークピープル達、もしくはその生命体が関わっている人が、故意に他人に対して攻撃をしたりエネルギーを奪ったりした場合には、そのダークピープルは逮捕され、今までかかわっていた地球人から強制的に引き離されるというルールです。

私達は、これを「エイリアン法案」と呼ぶ事にしました。

PART3 地球の多次元通路をとざす

そしてもう一つ「地球のアセンション評議会」で決められた事は、今までオープンだった地球の多次元ゲートを閉じるという事です。

基本的に他の星は、多次元に対するゲートが開いていませんので、他の星々や世界から様々な存在が入ってくる事はありません。

アセンションも、ダークピープル達や支配的な創造主などの影響を受ける事はありませんので、地球よりももっとスムーズに進みます。

ところが、地球は、様々な存在達の学びの場所として機能していたために、多次元通路を使用して、いくつもの世界から自由に出入りできるようになっているのです。

現在、地球はアセンションの途中ですので、さらにそのゲートが大きく開かれ、様々な思惑を持った地球外生命体達が入り込み、混乱した状態になっています。

私達は、その混乱を鎮めるために、地球が長

い事開いていた多次元通路を今回閉ざす事にしました。

光の地球もほぼ出来上がり、今のまま多次元通路やゲートを開いたままにしておくと、「光の地球」にまで様々な存在やエネルギーが関わってくるので大変危険な状態になります。

私達は、地球の多次元通路を、まずスピリチュアルなレベルで閉ざしました。

そうする事で、地球にこれからやってこようとしている地球外生命体達が地球に入れなくなりますし、また地球からも出れなくなります。

そして、光の地球が闇の地球から分離していくにしたがって、物理世界のゲートも閉じられます。

物理世界のゲートが閉じられると、スピリチュアルな存在も物理的な存在も、この地球に出入りする事ができなくなります。

ただ唯一、私達自身が多次元通路になっていますので、私達の許可を得た存在のみは、この地球に自由に出入りできるようになっています。

地球に出入りする存在が少なくなればなるほど、地球のアセンションとディセンションは効率よく進みますし、光の世界に行こうとする人々を、地球外生命体達が足止めする事もできなくなります。

私達は、この決定を地球に来ている地球外生命体達に伝えました。

アシュタールのグループが多くの地球外生命体達の種族に伝えてくれたようです。

帰る星がある地球外生命体達は、今帰らなければ自分達の星には永遠に帰れなくなると知って、この地球からどんどん出て行ってい

ます。

アシュタールのメンバーの意見では、7割から8割の地球外生命体達が出ていくのではないかとっています。

残りの2割から3割の地球外生命体達は、もうすでに帰る星を持っていないか、地球よりもはるかに劣悪な環境にある星からきた地球外生命体達のようなのです。

後はこの3割近くの地球外生命体達を、光の地球から切り離し、共にいる地球人と一緒に、自分達が望む世界に行くようにしてあげればよいのです。

また、この地球に残った地球外生命体達も「エイリアン法案」によって、暴力的な行動を規制される事になります。

PART4 地球のドラゴンと闇の勢力

私達には、もう一つ危惧している事がありました。

それは、何か薄気味の悪いドラゴン達が、この地球上に現れ始めている事です。

私は、自分自身のスピリットの1部であるシェンロンや漆黒のドラゴン騎士団達に、日本や地球のドラゴン達の様子を調べてもらいました。

すると日本の土地を守っているドラゴン達は傷つき疲れ果て、全く生気がない状態です。今のままでは、日本の土地を守る事さえも出来ません。

私は、宇宙の神聖なる神龍（シェンロン）や創造主達にお願いして、地球上のドラゴン達に光を送ってもらいます。

私達のもとに集まれるドラゴンは、必死の思いで私達のもとに集まり、神龍や創造主達の光を受けています。

やがて、地球のドラゴン達の傷も少しずつ癒えてきたようです。

ドラゴン達に生気が戻り、羽が再生していきます。

話を聞くと、闇から呼び出されたドラゴンやダークピープル達、破壊的な力を持つ存在によって傷付けられ、日本や地球を守る力を失ったようです。

私達は、漆黒のドラゴン達にお願いして、彼らに闇の力に対抗できるパワーを授けてもらいました。

そして私達「アセンション評議会」も、地球を防衛するための「地球警備隊」を作る事にしました。

なにか子供のドラマのようで恥ずかしいのですが、スピリチュアルの世界では、この地球をわがものにしようとする存在達がたくさん存在していますし、今現在も、彼らによって地球は脅かされているといっても過言ではありません。

この地球は、何度も言いますように、様々な問題を抱えた闇の地球から、光の存在達や純粋な心を持った地球人を分離する為に、光の地球が作られます。

その光の地球には、現在の地球を支配しているダークピープル達や光を持つ存在達のエネルギーを奪い取ろうとする存在、他の星から来て地球の支配権を争うような存在を入れてはいけません。

その様な存在から、光に満ちた人々と地球を守るために「地球警備隊」が必要なのです。

私達は、創造主にお願いして、漆黒のドラゴン騎士団や大天使ミカエルの力を借りて「地球警備隊」を作りました。

私達は、彼らと共に地球のドラゴン達を傷つけた闇のドラゴン達を追い、次々と闇の中に返していきました。

そしてこの闇のドラゴン達を、闇の世界からこの地球に解き放った闇のドラゴン使いを、闇の世界の奥深いところで発見しました。

地球のドラゴンマスターに来てもらい、彼の事を聞くと、昔はドラゴンマスターのもとで働く優秀なドラゴン使いであったようですが、自分が一番になりたいというエゴを、「すべての星を創造する創造主」に利用されて、闇のドラゴン使いになったようです。

闇のドラゴン使いは、ドラゴン達を自分のために利用したいと考える地球の人達とひとつになって、闇の世界から、数多くのドラゴン達を呼び寄せました。

そして、光の地球が完成する事を阻止するためにこの地球に解き放ったようです。

第8章 新たな宇宙を創る

創造主評議会

PART1 地球外生命達や創造主を操る「破壊の創造主」

私達は、地球警備隊と共に問題の「紫ピラミッド」に加わっているダークピープル達を処理していた時、また厄介な存在を見つけました。

それは、私達が属している宇宙の中に存在する創造主ではなく、別の世界から、私達の世界に連れてこられた創造主で、世界の破壊や混乱を引き起こし、新しい世界を創造するという創造主でした。

おそらく「すべての星を創造する創造主」が連れてきたのでしょうか、非常に大きなパワーを持っている創造主でした。

この「破壊の創造主」の力に魅せられた多くのダークピープル達が、「破壊の創造主」の力をかりてより強大なパワーを手にしていった事が分かりました。

私達は、私達の宇宙の最高次元の創造主「すべてを創造するワンスの創造主」に相談すると、この「破壊の創造主」は、私達の宇宙に関わってはいけない事になっているので、創造主同士で話をしてもらい、私達の宇宙から撤退してもらおう事になりました。

「破壊の創造主」が、私達の世界から手を引いた頃合いを見計らって、私達は「紫のピラミッド」を象徴として、地球の人々を操り支配していたダークピープル達とディセンションした世界で「闇のアシュタール」を作っ

ていたグループを一斉に取り締まる事にしました。

地球警備隊、光のアシュタール、宇宙警備隊と数多くの騎士団、光の創造主達の連合チームでこの仕事を行います。

彼らのゲートを通して彼らの世界に入ると、驚いた事に、数多くの人々や善良な地球外生命体達のスピリットがたくさん捕らわれています。

彼らは、自分達の力に屈した人々や地球外生命体達のスピリットを捕え、そのエネルギーを原動力として動いていたのです。

その中には、「光のアシュタール」のメンバーもたくさん捕らわれており、「光のアシュタール」は仲間達を一生懸命に救出しています。

おそらく、「光のアシュタール」が、地球や宇宙を守護している事を疎ましく思い、卑劣にも彼らを捕えていったのでしょう。

しばらく時間はかかりましたが、光に向かう地球においては、彼らの本拠地は壊滅したようです。

しかし、物理世界に逃げ込んだダークピープル達は、地球人の心の中に隠れて、地球人を通して、私達の活動の邪魔をしてきます。

また「破壊の創造主」がこの世界から手を引いた事で、地球上で彼の影響を受けて暴れていた「シバ神」や「怒れる創造主」達の行いも明らかになってきました。

シバ神は、地球の人が自分をもっと崇めない事に怒りを感じ、自然災害などを起こして多くの犠牲者を生みだしてしまいましたので、彼を光の世界に返す事になりました。

また「怒れる創造主」は、本来人の心や自然

界のエネルギーを落ち着かせるという「安らぎの創造主」だったのですが、彼が生み出した多くの女神と共に、「破壊の創造主」によって「怒れる創造主」「怒りの女神」にさせられてしまいました。

冷静な理性を失った「怒りの創造主」と「怒りの女神」達は、地球人の中に多くの怒りを吹き込み、感情を悪化させると共に、大地震などの災害を引き起こしていました。

しかし、私は、「怒りの創造主」の怒りを解き放ち、安らぎのエネルギーを送る事で、「怒りの創造主」は我に返り「安らぎの創造主」とへと戻っていきました。

「安らぎの創造主」に戻った創造主は、地球の様子と自分が行った事を見て呆然としていました。

そして自分が生み出した多くの女神が、怒り狂った女神となってしまった事に大きな悲しみを覚えています。

私達は、地球警備隊に命じて、「安らぎの創造主」と共に、出来る限り「怒りの女神」を探し出し、本来の「安らぎの女神」に戻るように助けてあげるようしました。

PART 2 地球を支配したがっていた「宇宙の秩序を守る創造主」

地球のアセンションもだいぶ進み、地球のエネルギーも大きく変わってきた頃、私達は大きなトラブルのビジョン見ました。

それは、人間の怒りの感情が増幅されて、私達がスピリチュアル・レベルと物理レベルで傷つけられるというビジョンでした。

それは近所の素行が悪い若者達から急に襲われて大けがをさせられるというビジョン

でした。

それも、私達の感情にリアルに恐怖心を送り込まれたために、恐怖で自宅から外出できない状態になってしまいました。

私達は自分達に送り込まれた恐怖心につながっているゲートを開くといくつかの存在を経由して、大変な創造主が関係していた事が分かりました。

それは、私達のスピリットの母体である「太陽の創造主」と「月の創造主」のさらに上にいる「すべてを創造するワネスの創造主」と同じレベルにいる創造主でした。

その創造主が表に浮かび上がってくると、「ワネスの創造主」は驚いた顔をしています。

理由を聞くと、この創造主は荒っぽい事をするので、今回は出てこないように別の空間に幽閉していたはずなのに、突然私達の活動や私達の精神に介入してきた事に驚いているようです。

私は、この創造主に、創造主としての役割を聞きました。

彼は、私に「自分は宇宙の秩序を守る創造主である。」と答えました。

そして今回の事は、私達が創造主の1部として、地球上に降りたにも関わらず、十分に創造主としての仕事をしていない事を懲らしめるために、私達を傷つけようと考えていた、という事を言いました。

私は、自分達が地球人として生きている限り、創造主としての力を発揮するのは難しい事であり、スピリチュアル・レベルで十分な活躍をしている事を説明しました。

しかし、この創造主は、自分の主張をまげま

せんので、私がさらに問い詰めていくと、本当は「太陽の創造主」と「月の創造主」に変わって、自分自身が地球を直接支配しようと思ひ、邪魔な私達を地上で抹殺しようとしていた事が分かりました。

「宇宙の秩序を守る創造主」は、「すべての星を創造する創造主」を使って、地球の物理世界を支配しようとしたのですが、私達によってその計画は阻止されてしまいました。そして、さらに「破壊の創造主」などを使って、私達の活動を邪魔しようとしたようですが、どれもうまくいかなかったために、直接、私達に攻撃を行ってきたようです。

その事を事前に察知した仲間達から情報がいり、「宇宙の秩序を守る創造主」の計画は、光の創造主達にばれてしまいました。私は、「宇宙の秩序を守る創造主」に、地球人として生きながら創造主の仕事をして見せるようお願いしてみました。

過酷な地球の現実の中で、地球に起きた不正を正し、地球を光の世界へ導く事ができるか、私達は彼に試してみるように仕向けたのです。

そして、ドイツの独裁時代にユダヤ人として生きてみるように推奨しました。

「宇宙の秩序を守る創造主」は、自信ありげに創造主として立派な仕事をする為に、その時代に降りていきました。

私はこの間に、さらに上位にある創造主に表れてもらうようお願いしました。

「すべてを創造するワンスの創造主」と「宇宙の秩序を守る創造主」の上にいる創造主が現れました。

彼は「創造主を育てる創造主」という名前で

創造主の教育係でもあります。

「創造主を育てる創造主」は、私達に謝りながら言います。

「宇宙の秩序を守る創造主」は、とても問題がある創造主で、「創造主を育てる創造主」は彼に何度も反省を促していました。そしてしばらくは創造主としての仕事から外していたのですが、最近彼が反省したようでしたので、「創造主を育てる創造主」は再び彼を創造主の仕事に戻したのです。

「創造主を育てる創造主」は、私達に次のように語りました。

「私達、創造主にも、学びは必要ですので、間違いを起こす事もあります。

私達、創造主も失敗と学びを通して成長していかなければならないからです。

しかし、彼は、過ちを犯しても、本当は反省などしていなかった事が、今わかりました。彼を創造主に戻した私の責任です。

彼は、今、人間として地球に降りましたので、もう創造主としてここに戻って来れないように、創造主の任務から解き放ちましょう。」

これで、自分の立場を利用して地球を支配しようとしていた「宇宙の秩序を守る創造主」の処分は決まったようです。

その時、ある創造主から、光の創造主の多くが「宇宙の秩序を守る創造主」によって力を奪われ幽閉されている事を聞かされました。

「宇宙の秩序を守る創造主」の計画がうまくいくように、彼に従わない創造主達が捕えられ幽閉されているようです。

私達はすぐに、創造主達を探し出し助け出す事ができましたが、同じ光の創造主に対してさえも、その力を奪い閉じ込めるという卑劣

な行いをする創造主が存在する事に、私はとても大きな失望を感じました。

私は、そのような行いを高次の創造主がする理由を聞くために、「宇宙の秩序を守る創造主」を生みだした創造主に合わせてくれるようお願いしました。

その創造主は、なかなか出てきてくれませんでした。ようやく表れてくれました。

PART 3 絶望の創造主

現れてきた創造主は、さも面倒くさそうに不快な顔をして現れました。

彼は、「創造主を生みだす許可を与える創造主」という名前で、創造主を生みだす事に対して許可を与えたり、自分自身も創造主を生みだす事を行うようです。

そして、「宇宙の秩序を守る創造主」だけでなく、今回大きな問題を引き起こした「すべての星を創造する創造主」も彼が生み出した創造主だったのです。

私は、彼に「宇宙の秩序を守る創造主」や「すべての星を創造する創造主」の暴挙をみて、どうして創造主の行いを正さなかったのかと問いました。

「創造主というものは常に進化するものだから、通常では理解できない事を行うのも仕方がないのです。

私はどうして彼らが、そのような誤った道に行ってしまったのか分かりません。

私は、彼らに対して愛情深く接していたにも関わらずそのような事が起こってしまった

のが不思議です。」

と言いました。

しかし、彼の心の中には言葉とは異なる感情があることを恵理さんは見抜いていました。

この創造主は、たとえ自分が生み出した創造主であったとしても、はるかに自分よりも大きな力を持ってしまった創造主達に対して、諫める事も光に返す事もできずに、ただ傍観する事しかできなかったようです。

彼は、自分がつくりだした創造主が行った事によって深い絶望を感じ、創造主としての仕事を放棄してしまったのです。

彼は、「自分はもう光に帰りたい。」とつぶやきました。

すでに自分の力が及ぶ範囲ではない事が起こり、絶望と苦しみの中で生きてきたのでしよう。

私は、この創造主を生みだした創造主に来てもらう事にしました。

現れた創造主は、美しく母性豊かな女神のような創造主で、「すべての創造主の母親である創造主」と名乗りました。

おそらく彼女には、この事がすべて分かっていたのでしよう、深い憂いを持った表情で現れました。

「本来は、この創造主達で片付けなければならない問題でしたが、彼等にはその事ができなかったようです。

私はその事をととても悲しく思います。

「創造主を生みだす許可を与える創造主」は、もう光に返しましょう。」

すると「創造主を生みだす許可を与える創造主」は、光に包まれていきます。

彼は最後にほっとしたような笑顔を見せて、光の中に消えていきました。

私は、絶望に身を任せた創造主を見送りながら、創造主の進化とは、いったいなんだろうと考えていました。

私は、このラインのもう一人の創造主である「創造主を育てる創造主」にたいして、あなたはこの事に対してどのように思われますか、と尋ねました。

すると思いがけない返事が返ってきました。

「私は、「太陽の創造主」と「月の創造主」のように自分の分身を地上におろして、宇宙の創造を行ってみたいのです。

私一人の力で、創造を行えるような世界を作りたいのです。」

このような創造主達の状況の中で、最高責任者の一人である「創造主を育てる創造主」が、部下の創造主の教育を怠り、自分一人で宇宙を創造したい、と言っている事にも驚きました。

この創造主も、部下の創造主が荒れ狂い、自分の手には負えなくなったから、自分はこの創造主達の教育係である事をやめて一人になりたい、と考えているようです。

私は、この創造主に、それでは自分自身で地上に降りてみて、地球の現状を見ながら創造を行ったらどうですかと尋ねました。

「創造主を育てる創造主」は、自分自身が地上に降りる事には興味はありません。

創造主として、自分自身で宇宙を創造したいのです、と言い放ちます。

これでは、下にいる創造主が闇にまみれおかしくなってしまうのも当然です。

私は、「すべての創造主の母親である創造主」

にこの事を尋ねました。

そして、「創造主を育てる創造主」に、独自の宇宙を創る許可を与えていただけませんかとお願ひしました。

「すべての創造主の母親である創造主」は、私の申し出を聞いてくださり、「創造主を育てる創造主」に彼女だけが関われる閉鎖的な宇宙空間を与え、彼女の宇宙を創造する事を許可していただきました。

「創造主を育てる創造主」は喜んで、私達に別れを告げ、自分の宇宙と共に消えていきました。

私は気になって「すべてを生みだすワンスの創造主」にあなたはどうですか、と聞いてみました。

すると「ワンスの創造主」も、まるで「創造主を生みだす許可を与える創造主」と同じように絶望した様な顔をして答えました。

「私も、今までこの宇宙の創造の為に尽くしてきましたが、うまくいきませんでした。

きっと、あまりにもいろいろな事が起こりすぎて、私も限界のようです。

あなた方が、ここにきて下さった事で、創造主の世界もそして地球も新しく生まれ変わる事でしょう。

後は、あなた方にお任せして、私も光に変える事にしたいと思います」

「すべてを生みだすワンスの創造主」は上を見上げ、「すべての創造主の母親である創造主」に光に返してもらおうようお願いしていました。

やがてキラキラとした光が、「すべてを生みだすワンスの創造主」をつつみ、美しい光が満ち溢れたかと思うと創造主の姿が消えてしまいました。

私は、大きなため息をついて、「すべての創造主の母親である創造主」に、誰もいなくなりましたね、といいました。

「そうですね、でもいつでもこれが始まりなんですよ」と彼女は答えます。

PART 4 新たな宇宙を創る創造主評議会

「すべての創造主の母親である創造主」が現れた事を聞いて、創造主達が集まってきました。

中には、今まで幽閉されていて助け出されたばかりの創造主達もいます。

「すべての創造主の母親である創造主」のすぐ下にいた「創造主を育てる創造主」「創造主を生みだす許可を与える創造主」そしてその下のラインにあたる「すべてを生みだすワンスの創造主」と「宇宙の秩序を守る創造主」がいなくなった事に、皆さんは大変驚いているようですが、中には「やはりそうなってしまったのか」と納得している創造主もいます。

もうすでにこの 4 人の創造主達が機能しなくなっている事は、1 部の創造主には知られていたようです。

創造主達は、次に私達がどのような事を言いだすのか見守っています。

私は「すべての創造主の母親である創造主」に、新しい創造主の構成をどのようにしたらよいか尋ねました。

「すべての創造主の母親である創造主」は、あなたが決めなさい、と言わんばかりに微笑みます。

私はまず、「創造主を生みだす許可を与える創造主」と「創造主を育てる創造主」に代わる創造主を「すべての創造主の母親である創造主」に生み出してもらうようお願いしました。

そしてその創造主は、「愛と正義を持って創造主を生み育てる創造主」という事にしてもらいました。

それから、消えてしまった4人の創造主の下のラインにある創造主6名を呼びました。

「すべての創造主の母親である創造主」に最も近い創造主は、「創造主を生みだす創造主」と「女神を生みだす創造主」です。

そして宇宙の空間そのものを生みだす「空間を生みだす創造主」「空間を測量する創造主」、あたらしい光の地球を作り出す「太陽の創造主」「月の創造主」と続きます。

私は、これらの創造主達にこれからしっかりと、新しい宇宙を作っていく意思があるかどうか尋ねました。

6人の創造主は、もちろんです、と言わんばかりにうなずきます。

「すべての創造主の母親である創造主」よ、私はあなたのすぐ下に、6人の創造主と新たに作りだされた「愛と正義を持って創造主を生み育てる創造主」の7人で、創造主評議会を作りたいと思います。

彼等は、あなたのもとで、公正に物事を判断し、大切な事は、この7人の同意を得て実行する事とします。

今までの創造主は、いつも自分勝手に自分のしたい事だけを行っていました。

その結果、混乱と闇が多い宇宙になってしまったので、これからはこの創造主評議会が決定した事のみを創造主達は行う事にします。

7人の創造主達は、責任を持って宇宙の運営にあたって、光の地球を作り上げてください。」

多くの創造主達から歓声が沸き起こります。新たに生まれた「創造主評議会」から、7色の虹の光が、創造主の間を駆け巡り、宇宙に新たな光を満たしていきます。

その光は、私達地球にも流れ込み、地球の物理世界を大きく変えていきます。

私達を苦しめていた「宇宙の秩序を守る創造主」がつくりだした恐怖と混乱は消え去り、安らぎに満ちたエネルギーが、私達の間にも流れ込んでいきます。

「月の創造主」の光が、最も高まるスーパームーンの翌日、創造主の世界は大きな再生を迎える事になりました。

そしてこの宇宙と地球も、新たな時代を向かえ光輝いています。

地球が大きく移り変わる5月まで、あと1週間です。

私は、日夜をとおして、地球のアセンションのために創造主や多くの天使達と共に働いていますが、今夜はあまりにも大きな変化がおこった夜でした。

これから私達が歩む光の世界 について

○光が多い世界に行くための法則

このメッセージは依然「光の世界」に行くための指針を創造主から受け取っていただきましたのでご紹介したいと思います。

今まであなた方は、私達創造主の思いを実現するために、この地球上でしっかりと活動してくださいました。

現在、地球には、いくつかのアセンションする世界に向かうためのゲートも開かれています。今までと同じ闇の多い地球に残るためのゲートも開かれています。

今のままの地球に残る事は簡単ですが、アセンションするためのゲートに入るのは難しいのです。

光が多い世界に行ける人は、スピリチュアルな事に興味を持つ人の中では、それほど多い訳ではありません。

多くの方達が、スピリチュアルのセラピーを行ったり受けたりするなかで、様々な欲望に囚われたり、依存心が生まれたりしています。そうすると、皆さんが本来行くべき光の世界から遠ざかっていきます。

一番、光の世界に向かわなければならない人達が、一番遠ざかっていくという事は本当に残念な事ですが、それも、光が大きくなれば、闇も大きくなるという法則なのです。

これからの世界は、今まで以上に多くの分離を経験する世界となっていく事でしょう。今までの人生で、自分の中にある不要なものを分離し意識の統合を経験した人達は、それを行わない人達と分離していく事になります。

もちろん地球自身も、より大きな光に満ちた地球と闇が多い地球が分離していく事になります。

それは、宇宙の法則に従って行われる事ですので、皆さんの個人的な感情や希望が入り込む隙間はありません。

たとえ皆さんが、どのように望まれようとも、宇宙のルールに、逆らう事はできないのです。

光が多い世界へ入ろうとする方達には、これから、アセンションしていく地球をさらに導いていくための仕事が待っています。

新しい地球には新しい考え方が必要ですし、今までにないエネルギーや光が降ろされてきますので、それを現実世界で受け取り、この世界を変えていく事が必要なのです。

今までの皆さんの活動は、この混乱した地球の中で、地球の純粋な光の部分を守っていただく仕事をしていただきました。

次は、その光の地球を育てていくための仕事です。

あなた方が、地球に人間として生れてきた本当の理由はこれからです。

新しい光の地球を生きていく事で、地球のアセンションを完成させてください。

恐れをすてて、新しい地球に入っていくために、あなたの中にある、光の存在としてのパワーを目覚めさせてください。

そしてあなた方は決して一人で歩むのではありません。

貴女の周りには、新たな光の家族が生まれてくる事でしょう。

あなたのスピリットの本当の家族を見つけられる事に喜びを持ってください

○光が多い世界に移り変わる事

これからあなた方が歩む世界についてお話ししましょう

もうしばらくは、光が多い世界とそうでない世界の混在した状態は続きます。

しかし、その分離は、これからさらに大きくなり、光が多い世界が分離するために、地震なども起こるでしょう。

光が多い世界が、この地球から分離した後は、今までの地球はさらなる原発の事故やテロリストによる事件、そして戦争などが起こる事も予定されています。

しかし、あなた方が行くべき世界は、そのような事がない世界です。

人々の心の中には、穏やかなスピリット達が存在していますので、同じような世界であっても、今までよりも優しく調和に満ちた出来事が起こってくる事でしょう。

政治や経済も、さらに良い方向に変わっていきます。

光の世界の地球では、政治家や経済人にも良心と愛が芽生えてきますので、争いやテロも少なくなりますし、自然破壊も起こりません。もちろん、今と同じような政治や経済のシステムも残りますが、これからは、利益のためには、何をしてもよいという考え方はなくなります。

そして、人に喜ばれる為には、自分は何を行い、何を分かち合えばよいのかという観点から、政治と経済は発展していくでしょう。

人々は、労働を行う事に喜びを見出します。そして、サービスを受け取る事に対して、もっと謙虚になり、感謝を持つようになります。お金は、ひとつの価値基準として存在しますが、お金がすべて、という考え方もやがて変わっていく事でしょう。

国同士の連携や助け合いも、今まで以上に活発になりますし、隠れて非合法的な事をしている人達も姿を消していきます。

○スピリットと共に歩む世界

現在、発展途上国と呼ばれている国や少数民族の人達は、長い間の抑圧から解放され、自分達の進みたい道を歩み始める事と思います。

それは物質的な繁栄ばかりを望むのではなく、昔の人間達がそうであったように、自然の中に存在する精霊達と共に生きていく事に喜びを見出すような生き方です。

彼らは本来、物質的な繁栄を望むために、この世界に生れて来たわけではありません。彼らは、この地球の豊かさを守るために生れてきたのですから、彼らは自分のスピリットに似合ったライフスタイルへと戻っていくでしょう。

少数民族のなかには、アセンションした地球を經由して、光の世界に帰っていく部族達もいるかもしれません。

彼らは、他の星や次元からこの地球に、学び

と守護のために来ていますから、彼らは故郷に帰る事となるのです。

これから皆さんが歩いていく世界では、人々はスピリットと共に歩む事が常識となります。

スピリットと共に歩むという事は、自分自身の高次の意識と深くつながり、私達が地球に降りてきた目的や使命を理解し、その事に基づいて生きていく事になります。

現実世界での物質的な快樂や欲望に身を委ね続けている人は、光が多い世界に行く事を望みませんので、そのような人達は減っていきます。

生きる目的を見失って失望している人や人に依存して自分自身の努力を行わない人達も少しずつ減っていきます。

1人1人が、自分はどのような生き方をするのが楽しいのか、という事が分かってきますので、人間関係においてもトラブルや悩みが減っていきます。

そしてこの社会も、騙し合う事やお互いを支配する事がなくなるので、もっとシンプルになっていく事でしょう。

○愛について学ぶ人々

光が多い世界に住む人々は、愛について深く学びます。

それも、誰かを独占して支配するための愛ではなく、お互いのエネルギーと優しさを分かち合うような愛、多くの人に奉仕するような愛を、皆さんが学び始めます。

お互いを見つめる眼差しはもっと柔らかく崇高なものとなっていく事でしょう。

愛について深く学んだ人達は、心が開かれていきますので、言葉によらない会話を行う事も可能となります。

そうすると、異なる言語を持つ人達の間でも、言葉によらないコミュニケーションが行われる様になりますので、人種や国家の壁も少しずつ少なくなり、お互いの意識の共有化が進みます。

今までの地球では、多くの人の意識の根底に、愛よりもさらに大きな苦しみや憎しみ、嫉妬などの感情や人を支配したい、依存したいという欲望がありましたので、人間の共通の意識にそのような感情や欲望が多く見受けられました。

そのために、今までの地球には、これらの感情や欲望にもとづく様々な制限やトラブルが蔓延していました。

しかし、人々の心の中に「至高なる愛の意識」が目覚めていき、それが言葉ではないコミュニケーションで広がっていくにつれ、人々の心の中にある感情や欲望が癒されていきます。

地球人の意識の根底には、再び、愛の感情がより豊かになっていくのです。

すると地球上でも、いままで抑圧されていた愛の意識が開かれていく事になるでしょう。人々が、お互いを信頼して調和に満ちて生きていける時が、再び訪れる事になるでしょう。

○アセンションする世界の子供達

そしてそのようなエネルギーの中で生まれ育った子供達は、新しい世界に行きするための特別な感覚を身に着けていきます。

それは「自由である」という感覚です。
今までの地球は物理的な制限が多い地球でした。
もちろん、物理世界に生きているのですから、
時間と空間の制限は受ける事は当然ですが、
彼らのスピリットは、それらの制限からもや
がて解き放たれていくでしょう。

新しい子供達は創造力にあふれ、楽しみをク
リエイトしていく天才ですので、生きる事を
「神聖なる遊戯」に変えていきます。
彼らの遺伝子構造はさらに豊かになり、より
高次の存在や他の次元の存在とも自由にコ
ミュニケーションができるようになる事で
しょう。

新しい子供達は、高次のマスターから、常に
啓示とパワーを受け取る事ができます。
今の私達には理解できない現象や考え方も、
彼らにすれば、とても身近で当たり前の事と
して行っていくでしょう。
私達は、そのような彼らの自由な発想と生き
方を尊重してあげなければなりません。
なぜなら、これからの世界を作るのは、私達
ではなく彼等なのですから。

私達は、新しい光の世界に行く事で、意識を
再編するような出来事を迎えるでしょう。
私達の意識は、まるでパソコンがアップデー
トするように、今までの古いシステムから新
しいシステムへと変わっていくでしょう。
その事に恐れを抱く人もいるかもしれませんが、
決して恐れる必要はありません。
私達のスピリットはすでに、その事を選択し
て先に進んでいるのです。

2015年11月21日 瀬戸 武志

制限の多い地球を卒業するための試練について

アセンションに向かう人への真摯なお願い

○アセンションを前に、道が分かれてゆく人々

地球に住む人々は、現在、様々な状況に置かれています。

本来の光あふれる自分に戻る努力している人もいれば、これからも争いや支配欲、物質欲の世界にとどまる事を決めた人もいます。また、様々な世界を目の前にして、行くべき道が見つけられない人もいます。

現在、地球はいくつものパラレルワールドに分かれています。どのような世界も、その世界に行く人にとっては、重要な世界です。自分のスピリット本来の役割を果たすために、光の世界に戻っていく存在達は、もうすでにスピリチュアル・レベルでの分離は終了しているようです。

また、学びの世界に残る人も、自らの成長が不十分だと理解しているために、あえてその世界に残り、肉体をもった人生の中で自らの務めを果たしています。

しかし、最近のスピリチュアル相談室やセミナー参加者の様子を見ていると、スピリチュアル的には、光の世界に行きたいと願っていても、自分の意識や現実的な判断の中で、学びの世界に強く引き戻されている人達が多いようです。

この事について、皆さんがどのようにしたら、

自分の意識とスピリットを一つにして、望むべき世界にいけるのか、私が分かる範囲でお話しします。

おそらく私の意見には同意しない人もいらっしゃるかもしれませんが、それは、お互いの立場が異なるという事でご了承ください。

○制限の多い地球を卒業するためのテスト

創造主達は、皆さんが本当に光ある世界に行きたいのか、また光の世界に行くだけの資質が育っているのか、私達を厳しく判断しようとしています。

そのために、いくつものテストを私達に仕掛けています。

それは学びのための地球を卒業するためのテストのようなものです。

光の世界に行くためには、物理的世界での過剰な欲望や愛されたいという感情、人や物に対する依存心などを捨てていかなければいけません。

皆さんは、今までの自分で、そのまま新しい世界に入っていけると思っているようですが、それは全く違います。

私達は、この欲望に満ちた物理的な地球を卒業しなければならないのです。

私達は、私達を束縛していた考え方や感情、欲望から自由にならなければ、今の世界から出ていく事はできないのです。

いくら、光の世界に行きたいといっても、欲望や感情に振り回された生活を送っていてもそれはかないません。

自分自身の意識と感情を整理して、成長するための努力をしなければ、それもただの欲望です。

光の世界に行くという事は、すべてが満たされた世界に入って、自由に楽な生活ができるというわけではなく、そのような世界を作るために、1人1人の努力が求められる世界なのです。

その努力とは、自分自身を束縛している物から自由になる事、そして自分と他人を分け隔てなく愛する事ができるようになる事です。そのような「無償の愛」のエネルギーが、光の世界を生み出す原動力となるのです。

しかし、アセンションを願う人達の中にも、いま大きな欲望のエネルギーが渦巻いています。

それは、アセンションする人達自らが自分自身の中にある不要となった感情やエネルギーを手放すために起こっている事です。往々にしてそれらの感情やエネルギーを操る「闇の世界の存在達」のコントロールを受けている場合も多いようです。

私達はその事を真剣にとらえ、自分の内側で何が起きているのか見極めていかなければなりません。

私達が向かう世界は、もうすでに闇の多い世界を作っていた「闇の世界の創造主」や「闇の世界の存在」達とは切り離されつつあります。

しかし、現実世界では、「光の世界につながる通路」も「学びの世界につながる通路」や「闇の多い世界につながる通路」も、皆さんの前に開いています。

さらにいうならば、1人1人の意識の状態に合わせて数えきれないほどの多様な世界の通路（ゲート）が開いているといってもよいでしょう。

そのために、地球に生きる私達は、様々な世

界から影響を受け、どちらの世界にも行く事ができます。

しかし、「学びの世界につながる通路」「闇の多い世界につながる通路」の奥にいる存在達は、皆さんが自分達の世界に来るように必死で誘いかけてきます。

彼らにとって、皆さんのスピリットはとても魅力的でどのような方法を使っても奪いたいものなのです。

私達は、創造主と共に、闇の世界の創造主達や闇の世界の存在に対して、光の世界に向かうべき存在達を欺いたり、強制的な方法で闇の世界に連れ込まないようにルールを作りました。

彼らは、そのルールのために、人々を無理やり闇の世界に連れ込む事はできなくなりましたが、本人の同意があれば、自由に光の存在達を捉え、学びの世界や闇の世界に連れ込む事ができます。

彼らは、表向きは立派な言葉や心地よいエネルギー、経済的な豊かさなどを装って皆さんに近づきますが、エネルギーの見極めができない地球人は、表面的な言葉や欲望に心動かされて、彼らの誘いに乗ってしまうのです。

そうすれば当然のごとく、皆さんのスピリットの自由は奪われ、皆さんが望むべき世界に行く事はできなくなります。

しかし、それも皆さん自身の判断として、光の創造主達も大天使達も助ける事ができず、見守らなくてははいけないのです。

○スピリチュアルな世界の危険性

スピリチュアル世界の様々なヒーリングの中でも、お金儲けができるとか偉くなれる、他人をコントロールできるなどの特質をもつヒーリングは闇の多い世界から来ているものもあります。

皆さんの中には、スピリチュアルな世界が見えるようになりたい、天使達の声が聞こえるようになりたいという願いを持っている人もたくさんいます。

もし、その人の気持ちの奥に、そのような能力を持つ事によって特別な存在になりたい、お客様をたくさん持って経済的に豊かになりたい、という気持ちがあるならば、その人はすでに、闇の世界の存在達の招待を受け取り、彼らと共に歩み始めた事になります。

知らないうちに、闇の世界のエネルギーを使う事で、急にそのような能力が目覚めたり、新たな力が生まれてきたりします。

そして周りからちやほやされたり、先生扱いされるようになり、多くの人から頼られるようになります。

最初はその事が心地よいように思え、経済的にも豊かになる事に満足を覚えるかもしれませんが、多くの人々が、皆さんに依存してエネルギーをどんどん奪っていくようになります。

どうか、様々なヒーリングやセラピーに参加する前に、自分の心の働きを感じてください。もし、このセミナーやセラピーを受けると、自分は助けてもらえるかもしれないとか、このセラピーを行えば、経済的に豊かになれる、自分が特別な存在として人に認めてもらえる、このセラピーを教えてくれる先生のように有名になれるなどという気持ちがあれば、どうかそのセラピーやセミナーに近づかな

いでください。

自分の純粋な愛のエネルギーが心地よく感じられるセラピーだけを行ってください。

また物質に、自分の欲望や願いを入れ込んだものを作る事も決してお勧めできません。

それが地球の平和に向けられたものであるならばよいのですが、自分の欲望や願いを含めたものであるならば、自分のエネルギーフィールドの回りが、物質的な欲望を願うエネルギーで満たされ、どんどん重たいものになってしまいます。

自分自身の努力を横に置いて、そのようなものに頼るような事は、自分の中に依存心を生み出すだけです。

アセンションする地球に行くために、最も捨てなければならない物の一つがこの「依存心」です。

自らの能力は、自らが開いていくものです。天使やマスターはそのサポートを行う事もあります。自分の願いをそのような物に託す必要はないと思います。

それよりも、もっと真摯な祈りと努力を行うように、考え方を変えていったほうがよいのでは、と思います。

○カード類の問題

多々あるカード類を使用している人達も考えなければならない事があります。

誰が、どのようなエネルギーを用いて作ったかわからないようなカードを使用して、相手の人生の大切な問題にアドバイスを送るとい事も、よく考えたほうがよいのではと思います。

そのカードを使用する事により、カードを使用する人もアドバイスを受ける人も、共にそのカードのエネルギーに影響を受けてしまいます。

私は、皆さんが、真摯にクライアントさんに向かい合う事によって、自分と相手の心の声を聴けるように、努力すべきだと感じています。

天使やマスター達は、本来は光の存在ですから、地球人の意識の成長や地球の平和のために、皆さんをサポートするために来ています。彼らは、恋人が欲しいとかお金が欲しいとか、というような個人的な欲望に対しては、積極的には関わりません。

その事を積極的に行うのは、私達が「ブラック・エンジェル」や闇のマスターと呼んでいる存在達です。

ブラック・エンジェル達は、私達の欲望や情欲、支配欲、物質欲などをコントロールして、私達の気持ちを、欲望の世界へと向かわせます。

ブラック・エンジェル達は、欲望を持つ人達が、欲望を持つ事でどのような学びを行うか、という事に興味があります。

そのために、欲望を速やかにかなえてあげる事で、その人がさらに多くの願いや欲望を持つようにしていきます。

そして、最後は大きな破綻が待ち構えている事が多いのです。

現実世界でも、大きな文明や国家、あるいは会社などのリーダー達の中で、このような存在達と共に歩んできた人は悲しい結末を迎えています。

私達は、ライトボディヒーリングのセッションでも、皆さんの過去性の中で、このような闇の存在達と関わりあうとどのような結末を迎えるのかお知らせしましたし、またそのような問題も解決させていただきました。できうる限り、目先の利益や効果をちらつかせるような存在とはかかわりあわないほうがよいと思います。

〇ツインソウルの幻想

そして最近特に増えてきたのが、「ツインソウル」や「ソウルメイト」を自分の恋愛の対象として求めている人達です。

これはとても危険な事なのです。

本来ツインソウルは、自分の魂の片割れとして、自分の成長を助けるためにあります。

ツインソウルは、皆さんにとっては、決して恋愛の対象となるようなものではなく、自らを厳しく見つめなおし、自分の魂が完全な存在となるための多くの試練を与えます。

そのために、今まで隠していた感情やエネルギーが噴出し、恋愛どころか、お互いを憎みあう事さえも起きてしまいます。

あるいは、そのスピリットと出会う事で、皆さんの人生に劇的な変化を起こしてしまう事もあります。

しかし、ツインソウルや魂のパートナーに会いたいと考えている人の中には、ただツインソウル等と出会って、彼から愛してもらいたい、自分を女性として満たしてもらいたい、という欲望に動かされている人もいます。

ツインソウルやソウルメイトは、必ずしも異性として現れるものではなく、同性の友人や

親子、あるいは会社の上司など、自分が苦手とする立場の人として現れる事もよくあります。

なぜなら、自分自身が持つ魂の不完全さや欠点、成長させるべきところを強烈に見せてくれるのがツインソウルです。

その片割れと会ったならば、強制的にそのような事が学びとして行われてきますので、ロマンスを楽しんでいる暇はないかもしれません。

またそこでロマンスが起きてきたら、そのロマンスを通して大きな事を学ぶような関係性ができてくる事でしょう。

皆さんのスピリットは、本当に光に向かっていますが、その最終的な場面で、このような女性としての一番弱いところを、闇の存在達からアタックされていくのです。

私達が、その事を調べていくと、光の世界からはすでに撤退した闇の存在達のゲートが大きく関わっている事が分かりました。

現実世界において、本物ではない「ツインソウル」に心を奪われて、愛されたいという欲望の渦の中に流されないでください。

自分が今いる場所をしっかりと見つめ、自分自身が他人を愛してあげたいという「無償の愛」に目覚めてください。

現実の生活では、お金や家が必要だからご主人と一緒にいても、心は他の男性に奪われて、その人との時間を大切にして家族を顧みない、という事にならないでください。

この事が多くの女性メンバー達に起こっている事を、私達は何よりも危惧しています。

○幻想を乗り越えて、光の世界へ

この文章を書いている途中にも、闇の世界をつかさどる大きな存在が現れ、創造主と共に処理していました。

それは、どのような存在にも姿を変え、皆さんを巧みにだます事ができる闇のマスターです。

その存在は、皆さんが一番求めている存在に姿を変え、言葉巧みに誘います。

ある程度、見えたり聞こえたりできるようになった人達が、この存在のターゲットです。

ある時は女神、ある時は大天使の姿をして、皆さんを信頼させると、どんどんと光の世界に偽装した闇の多い世界に皆さんを引き連れていきます。

多くの宗教やカルト、ヒーリングのグループにも、この存在は深く関わり、皆さんの自由と成長を奪ってしまいます。

しかし、この事に関わっている人は、これらの事を学び終えなければならぬために、この事を経験しているのです。

いつまでも、ヒーラーや宗教、力を持った人などに頼り、依存心のままに生きていけば、やがて自立できなくなり、自らの魂も闇の世界の中で、進むべき道を見失ってしまいます。

様々なヒーリングやカード、グッズ類に頼る事なく、あくまでも道具である事を自覚して使用してください。

それらの中には、精神安定剤のように、皆さんの素晴らしい意識を抑圧し、無意識のうちに皆さんのエネルギーを奪い去るものもあります。

エネルギーの見極めができないものに対しては、近づかないほうがよいでしょう。

そしてパワースポットや多くの神社などがある場所も、本来は自然の神聖な精霊が存在する素晴らしい場所でした。

しかし、多くの人が自分の欲望の拠り所としてしまったために、この地上に物質的な欲望をもたらす存在や戦いや競争に勝つために手段を択ばないという存在達が居座ってしまいました。

皆さんがその場所で祈る事で、それらの存在と深くつながってしまう事もよくあります。今までは、その事から起こる事も重要な体験でしたが、これから皆さんが行く光の世界では、これらの事も必要ではなくなります。

つまり、これからの世界は、皆さんの心が唯一の判断基準となる世界です。

様々な欲望から、自分を自由にして生きていてください。

私達は、皆さん一人一人が、光の世界にたどり着いてくださる事を、心から祈っています。

瀬戸武志&恵理 2016年2月26日

○物理世界に関わる創造主の階層
 (下に行くほど低くなる)

	光の創造主 闇に落ちた創造主
第1評議会のリーダー	光彩の創造主
多次元宇宙の創造主評議会	全ての宇宙を作り出す創造主 真眼の創造主 記録の創造主 愛の創造主 予測の創造主 均衡の創造主 根元の闇の創造主達
	全ての宇宙に働きかける創造主 全ての闇の宇宙に働きかける創造主
	全ての創造主を見守る創造主 全ての闇の創造主を見守る創造主
	始原の創造主 すべてのゲートを管理する創造主
	全ての世界のエネルギーを生みだす創造主 全ての世界のエネルギーを見守る創造主 論理の創造主 理想の創造主 制約の創造主
	創造主を生みだす創造主 創造主の世界をうみだす創造主

	<p>主</p> <p>創造主を守護する創造主</p> <p>闇の創造主を守護する創造主</p>
	<p>全なる光の創造主</p> <p>光と闇を調和させる創造主</p> <p>全なる闇の創造主</p>
	<p>全ての母性を司る創造主</p> <p>時代を司る創造主</p> <p>すべての判断を見守る創造主</p>
	<p>光りの楽園の創造主</p> <p>新時代の公正さを司る創造主</p> <p>愛と覚醒の創造主</p> <p>新時代を司る創造主</p> <p>愛と慈しみの創造主</p>
	<p>全ての創造主の母親の創造主</p> <p>すべての世界の秩序を作る創造主</p>
創造主評議会	<p>全てを創造する創造主</p> <p>神々を生みだす創造主</p> <p>女神を生みだす創造主</p> <p>全てを創造するワンス創造主</p> <p>創造主の創造に許可を与える創造主</p>
	<p>空間を生みだす創造主</p> <p>位置を定める創造主</p> <p>宇宙のひな型を作る創造主</p> <p>創造主に学びを与える創造主</p> <p>楽しみを与える創造主</p>

	<p>完全なる太陽の創造主</p> <p>完全なる月の創造主</p> <p>全ての星を生みだす創造主</p>
	<p>全ての愛の源の創造主</p> <p>全ての光と闇を生みだす創造主</p> <p>完全なる真実をつかさどる創造主</p> <p>すべての者を神聖さに導く創造主は闇の創造主を作るー光を飲み込む創造主、幻影の創造主、殺戮の創造主、情念の女神</p>
5人の創造主	<p>○審判の創造主</p> <p>○天使を生みだす創造主</p> <p>○宇宙の時を生みだす創造主</p> <p>○進化を促進する創造主</p> <p>○すべてに叡智をもたらす創造主</p>
	<p>全ての世界の創造主</p> <p>全ての世界の源となる創造主</p> <p>完全なる愛と浄化の創造主</p>
	<p>光と闇の創造の創造主</p> <p>始原の創造主</p> <p>アペリコットの創造主</p>
	<p>エンドの創造主</p> <p>再生の創造主</p> <p>希望の創造主</p>
完全ある創造主	完全なる祝福の創造主

造主	完全なる歡喜の創造主 完全なる光明の創造主 完全なる分離の創造主 完全なる創造の創造主 完全なる調和の創造主 完全なる美の創造主 完全なる叡智の創造主
全ある創造主	全なる善行の創造主 全なる愛の創造主 全なる光の創造主 全なる生命の創造主 全なる虹の創造主 全なる陰陽の創造主 ゲートを開く創造主
	虹の光の創造主 融合の創造主 真実の創造主 全てを見渡す創造主 全てを現わす創造主
物理世界の系列を表す創造主	輝きの創造主 光と闇の統合の創造主 至高なる愛の創造主 永遠なる時の創造主
	無の創造主 祝福の創造主 太陽種族の創造主
12 神殿に関わる創造主	ソフィア族の創造主
	鳳凰族の創造主

	<p>永遠ある愛の女神</p> <p>黄金の女神 宇宙の意志</p> <p>ダイヤモンドの女神</p>
<p>高次の物理 世界の創造 主</p>	<p>セントラルレース</p> <p>セントラルイエス&マリア</p> <p>モーゼ</p> <p>クリスタルレース</p> <p>デバインマスター</p>
<p>愛の源の世 界</p>	<p>愛の源の世界のマザー</p> <p>エンソフ ウィング</p> <p>アメンラー</p>
<p>物理的な宇 宙を統治す る創造主</p>	<p>ブラフマン 界王</p> <p>各銀河の創造主</p>

光りの世界の区分

○光の世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に応じていくつもの地球に分かれている事をお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

今の地球の光と闇の割合は、およそ光 45%、闇 55%、もしくはもう少し闇の割合が多い世界のようなようです。

この割合の世界では、まだ闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が 50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなります。また学びが必要な人には、その学びにふさわしい事が起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つける事ではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなくいしそつうができるようになり、嘘をついたり心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切な事は、地球外生命体達に対する理解が求められるようになります。

更に光の割合が 70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

生きている人では 70%から 80%が最高クラスになるようです。

更に光の割合が 90%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、光の地球の存在として宇宙の運営に関わる仕事を始める事でしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこの事は、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。



光 90 % の 世 界 宇 宙 の マ ス タ ー の 世 界	宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 争いなどはなく、自らが愛と光になるために学びを行う。 ここに入る人は、地球で起きている事をすべて理解し、常に真実を
---	---

	<p>求め努力してきた人。</p> <p>地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きうる人々を自由に平和な者にするために、常に努力してきた人々。</p> <p>この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。</p> <p>人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人。</p>
<p>光80% 台の世界 地球に生きるマスターの世界</p>	<p>光90%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、未だ程よいエゴを持ち、生活を楽しみたいと考えて生きてきた人々。</p> <p>この世界では、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う。</p> <p>また地球外生命体達の事を深く知り、彼らと共に働ける人。</p> <p>自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p> <p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。</p> <p>地球の人達が光の世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。</p>
<p>光70% 台の世界 物理的な光の</p>	<p>常に正義と愛のために生きてきた人の中でも、程よい欲があり向上心がある人。</p> <p>欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分</p>

<p>地球での指導者の世界</p>	<p>の中の光と闇を統合してきた人。 地球外生命体の事を理解し上手に付き合う事ができる人 この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、学びを行う人達が入る世界。 少数民族の人達の仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。 ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。 いくつかの世界に分かれる光の地球に、それぞれが配置され、世界を守護していく。</p>
<p>光60%の宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。 しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分にその事が実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。 周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなく地球外生命体達の事もよく知らない人達が、そのための学びを行うための場所。 この世界ではおおきな争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光に満ちた世界が生まれてくる。 少数民族でも、あまり物質社会を</p>

	<p>経験していない素朴な人達がいく世界。彼等はここで更なる学びを行う。</p> <p>この世界に入れる人は、この地球でもまだわずかです。</p> <p>この世界に入ると、今迄の地球とは格段と異なる世界に来たという事が分かるでしょう。</p> <p>どうかこの世界に入れるように努力してください。</p>
<p>光 60 % ～ 53 % の世界 光 が 多 い 学 び の世界</p>	<p>ここから上が光の世界です。</p> <p>今の地球よりはさらに光がある世界で、今よりは、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、お互いを思いやる事が普通にできる世界。</p> <p>今の世界よりは、愛と調和に満ち、人間同士の争いや自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく。</p> <p>ここに行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争う事が好きな人は入れない。</p> <p>人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れない。</p>
<p>光 53 % ～ 47 % の世界 光と闇の 境 界 の 世界</p>	<p>ここは光の世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。</p> <p>まだ行く先が決まっていない人や普通に生きてきた人達は这个世界に入る事が多いようです。この世界からどの世界に行くか決まるようです。</p> <p>スピリチュアルな仕事をしている</p>

	<p>人でも、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行く事になります。</p>
<p>光40% ～47% の世界 現在の 地球と同じ 学びの 世界</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来を共に体験する事になります。</p> <p>光が多い世界に行くための努力をしない人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人は、この世界にそのまま残るようです。</p>
<p>光30% 台の世界 闇が 多い 学びの 世界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。</p> <p>戦争やテロが多発し、多くの人が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送る事になるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つ事になると思います。</p> <p>この世界には、多くの欲望に取り</p>

<p>付かれ、他人を支配したり傷つける事を好んで行ってきた人達がいなく世界になると思います。</p>
--